

# 平成31年臨床研修修了者アンケート調査 結果概要

## 平成31年臨床研修修了者アンケート調査結果

### <調査概要>

対象者：平成31年3月末までに臨床研修を修了予定の研修医●,●●●●名

調査方法：厚生労働省より自記式質問票を送付し、地方厚生局へ提出。

調査期間：平成31年3月1日～3月末日（地方厚生局への提出期限：平成31年●月●日）

### <回収状況>

配布対象者	回収数	回収率
7,918	<b>6,806</b>	<b>86.0%</b>
(参考H30) 8,092	6,523	80.6%

※以下、(参考H30)とあるのは、平成30年の調査結果  
(平成30年3月研修修了者対象)

### <回答者の基本属性>

#### 【性別】

男性		女性		無回答	
人数	割合	人数	割合	人数	割合
4,223	62.0%	2,281	33.5%	302	4.4%

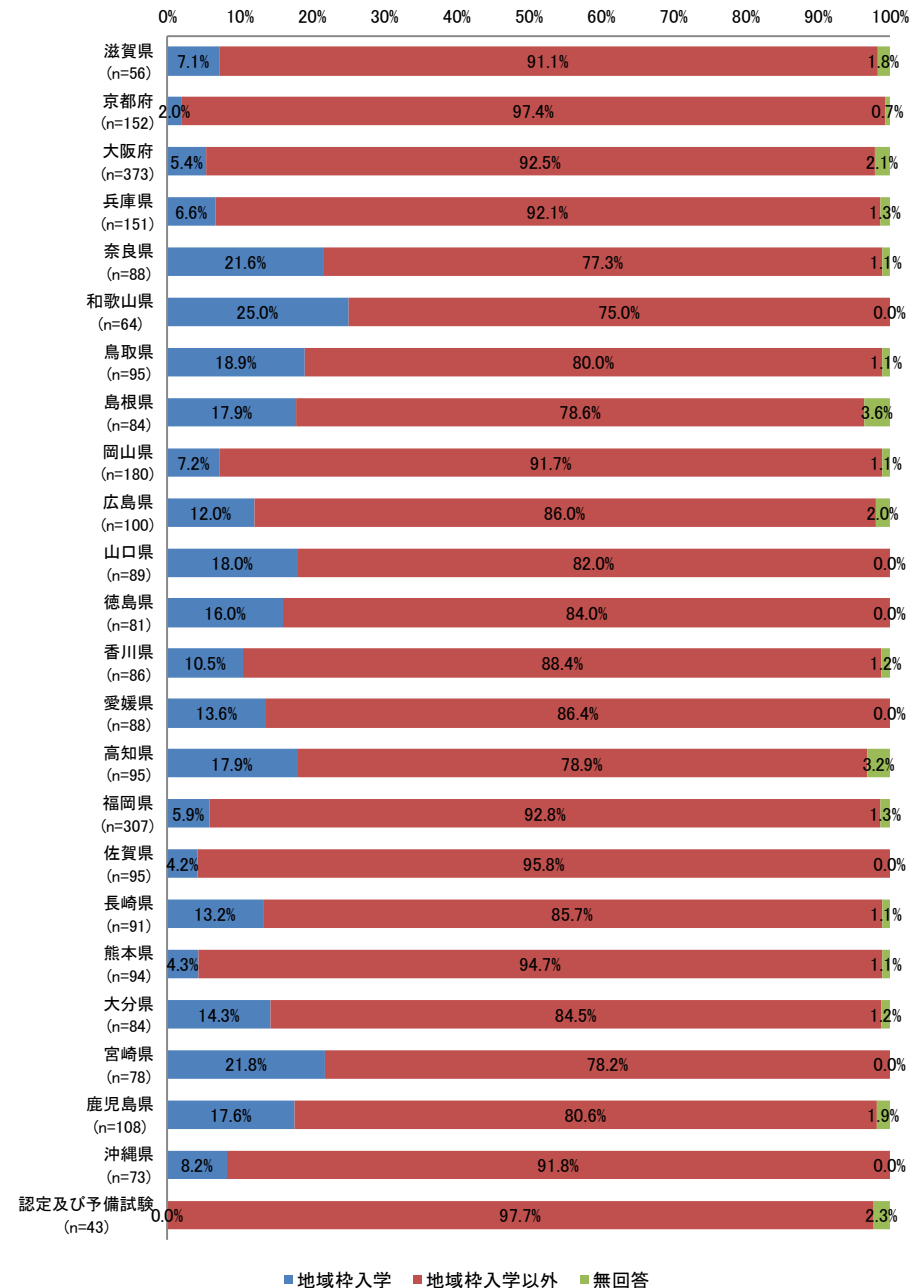
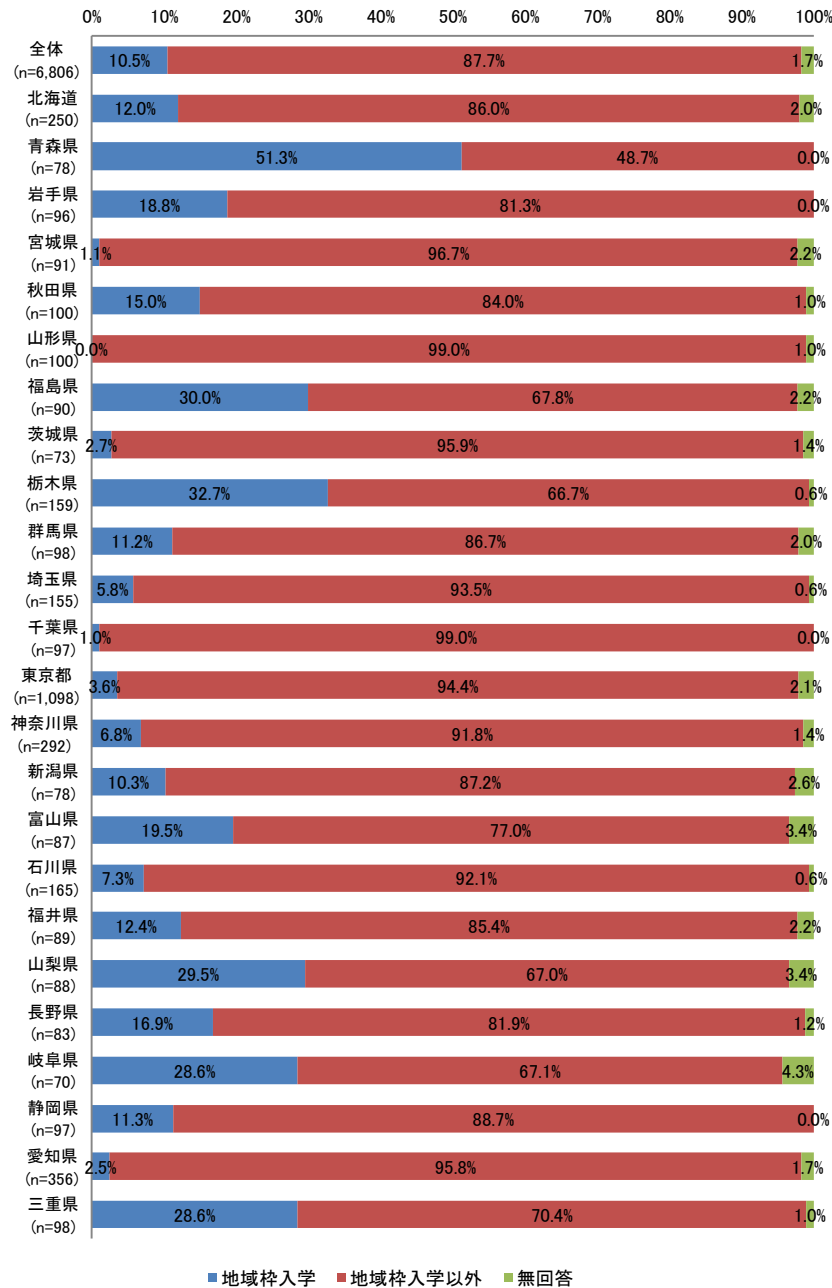
#### 【臨床研修を行った病院】

病院の種別	人数	割合	(参考H30)
大学病院	2,771	<b>40.7%</b>	2,576
臨床研修病院	3,958	<b>58.2%</b>	3,826
無回答	77	1.1%	121

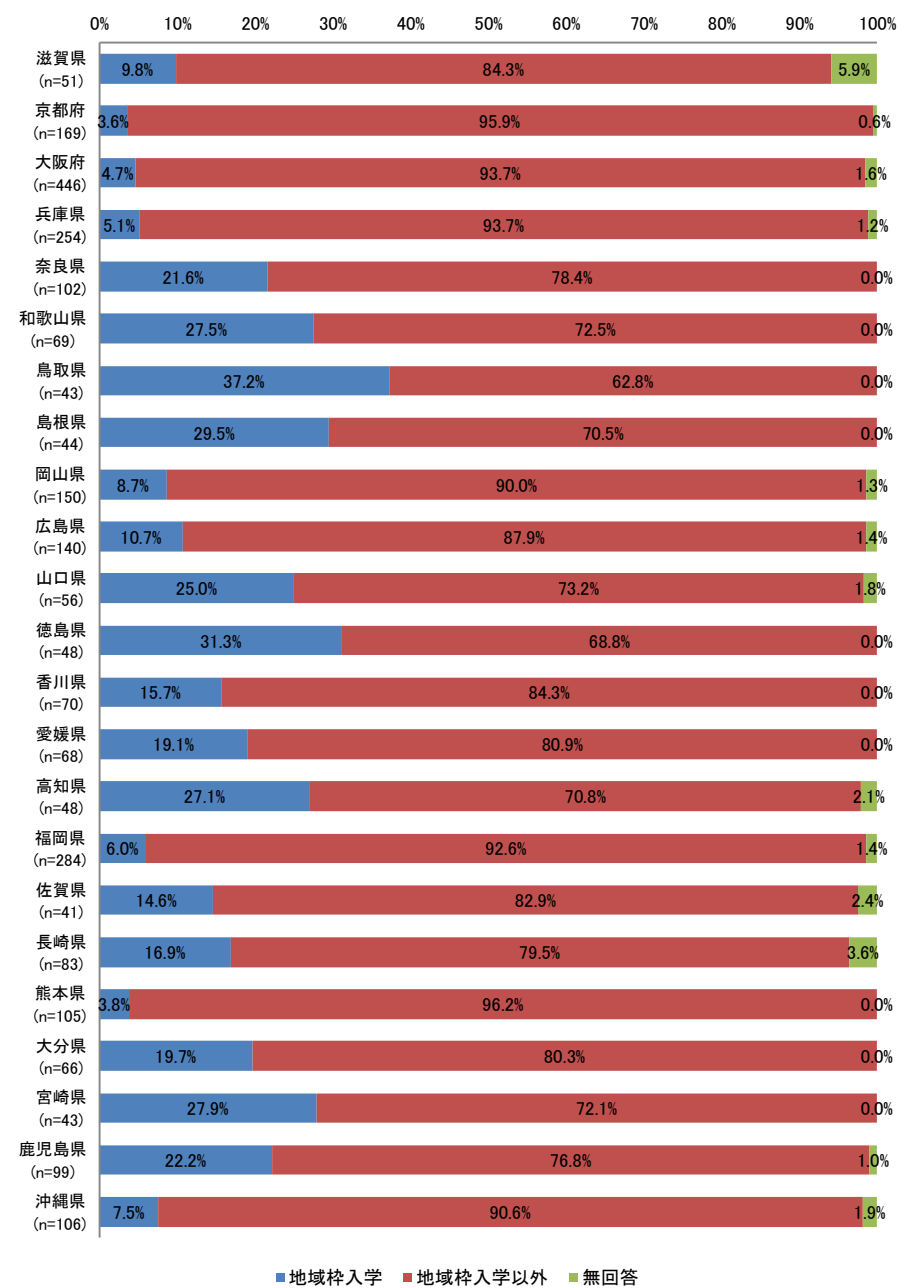
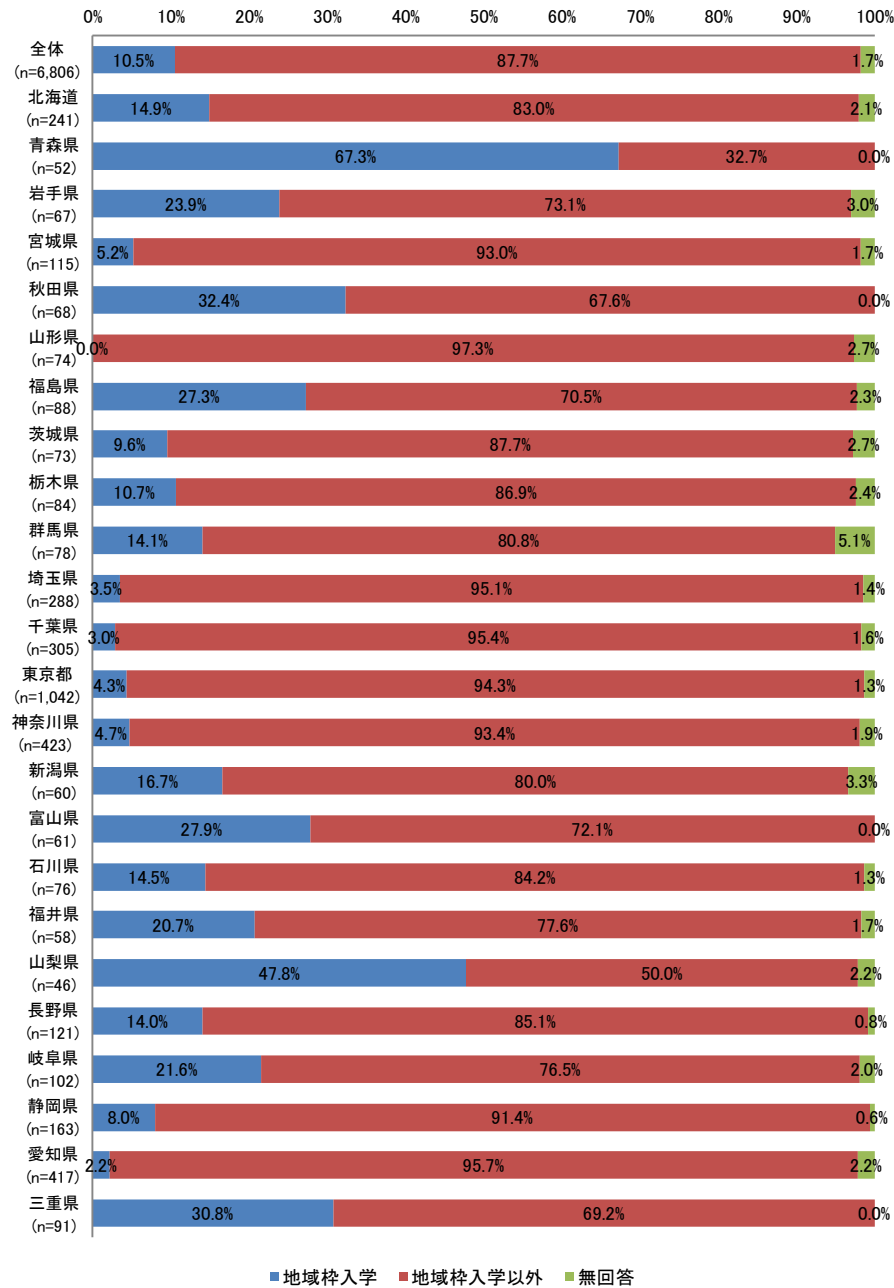
#### 【出身大学・臨床研修を行った主たる病院の所在地域】

地域	出身大学		臨床研修を行った主たる病院	
	人数	割合	人数	割合(出身大学割合との差)
北海道	250	3.7%	241	3.5% <b>(-0.2)</b>
東北	555	8.2%	464	6.8% <b>(-1.4)</b>
関東信越	2,221	32.6%	2,520	37.0% <b>(+4.4)</b>
東海北陸	873	12.8%	910	13.4% <b>(+0.6)</b>
近畿	973	14.3%	1,149	16.9% <b>(+2.6)</b>
中国四国	898	13.2%	667	9.8% <b>(-3.4)</b>
九州	930	13.7%	827	12.2% <b>(-1.5)</b>
認定・予備試験	43	0.6%	—	—
無回答	63	0.9%	28	0.4%

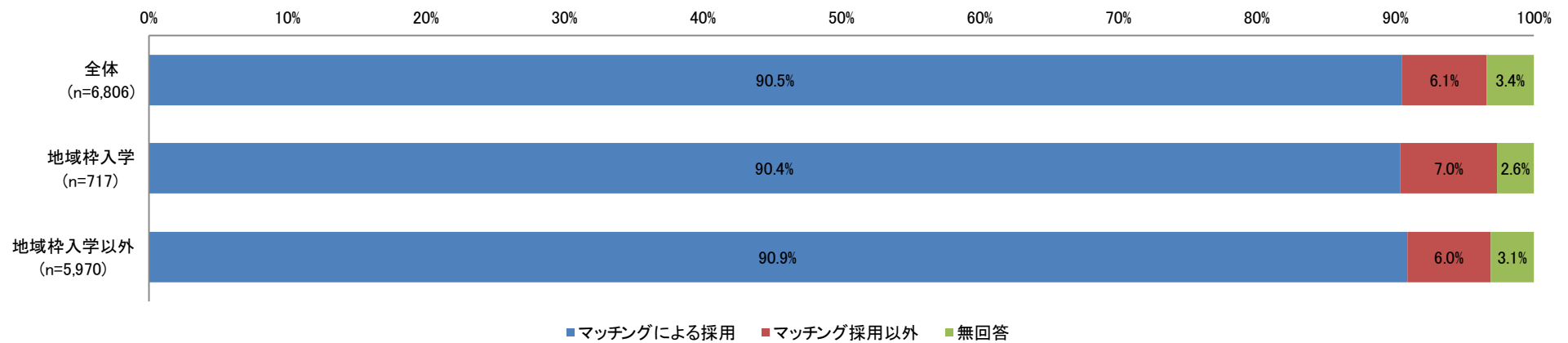
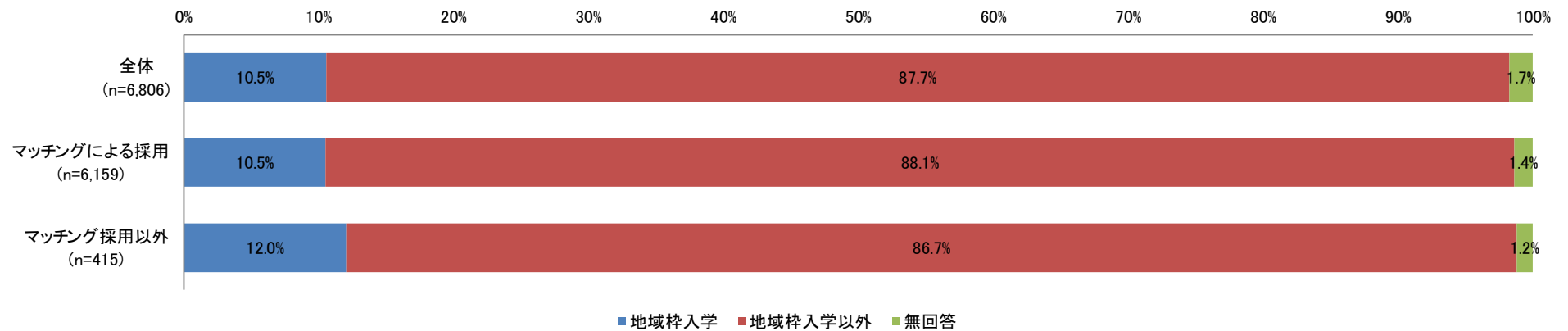
# 地域枠入学者の割合（医学部所在地別）



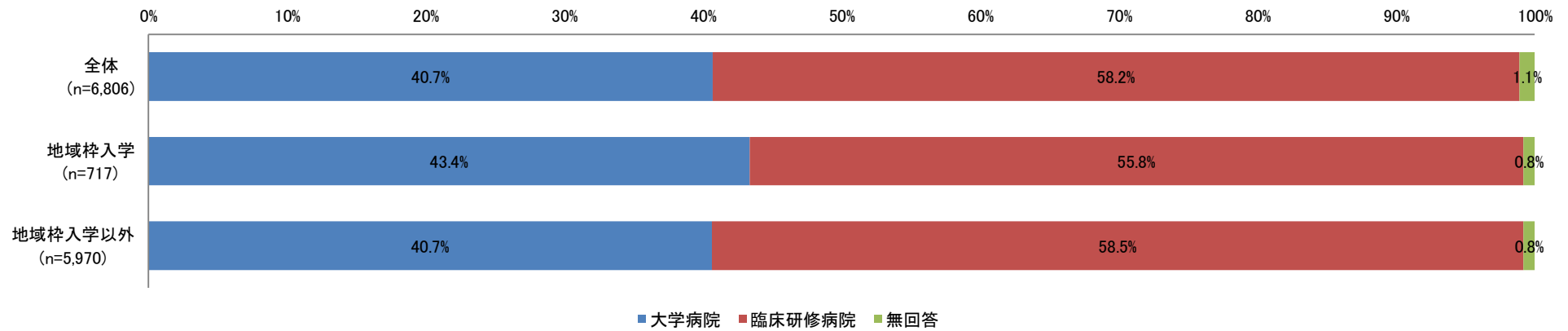
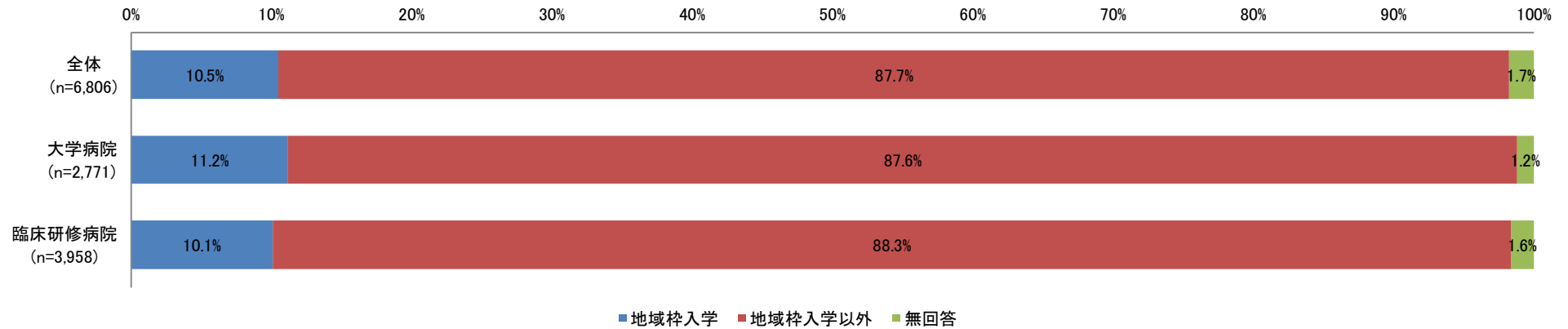
# 地域枠入学者の割合（臨床研修地別）



# 地域枠入学とマッチング採用の関係

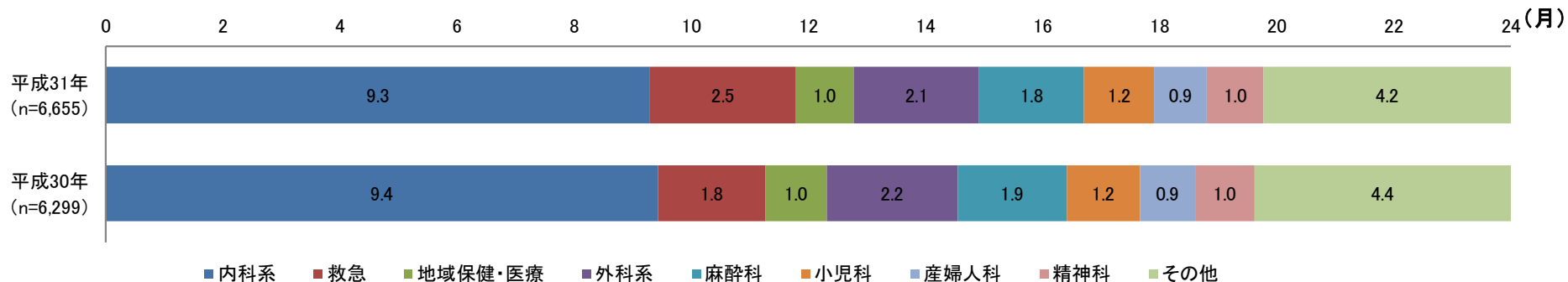


## 地域枠入学と臨床研修を行った病院種別の関係



# 診療科ごとの平均研修期間（合計＝24か月換算）

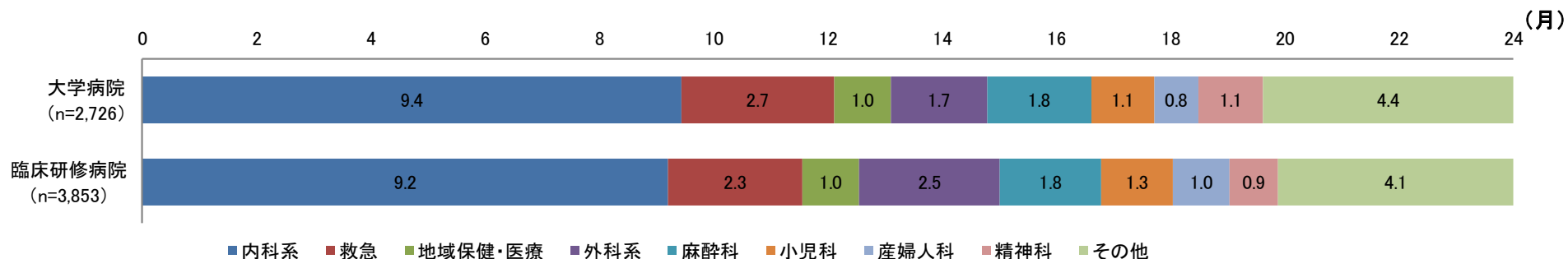
○平均の研修期間は、内科系が最も長く9.3か月であり、次いで救急2.5か月、外科系2.1か月、麻酔科1.8か月であり、地域保健・医療、小児科、産婦人科、精神科は1か月程度である。



## 【集計方法】

無回答者151名を集計対象外とし、6,655名について集計を行った。

診療科ごとのローテート期間の合計値を6,655で除して平均値を算出し、これを全診療科分足し合わせたところ、約24.07か月となったため、診療科ごとのローテート期間の平均値に24/24.07を乗じ、補正した値をグラフに示している（平成30年についても同様の計算を行っている）。



## 【集計方法】

平成31年のデータを、臨床研修先の病院種別ごとに集計した。24か月換算の方法は上記の通り。

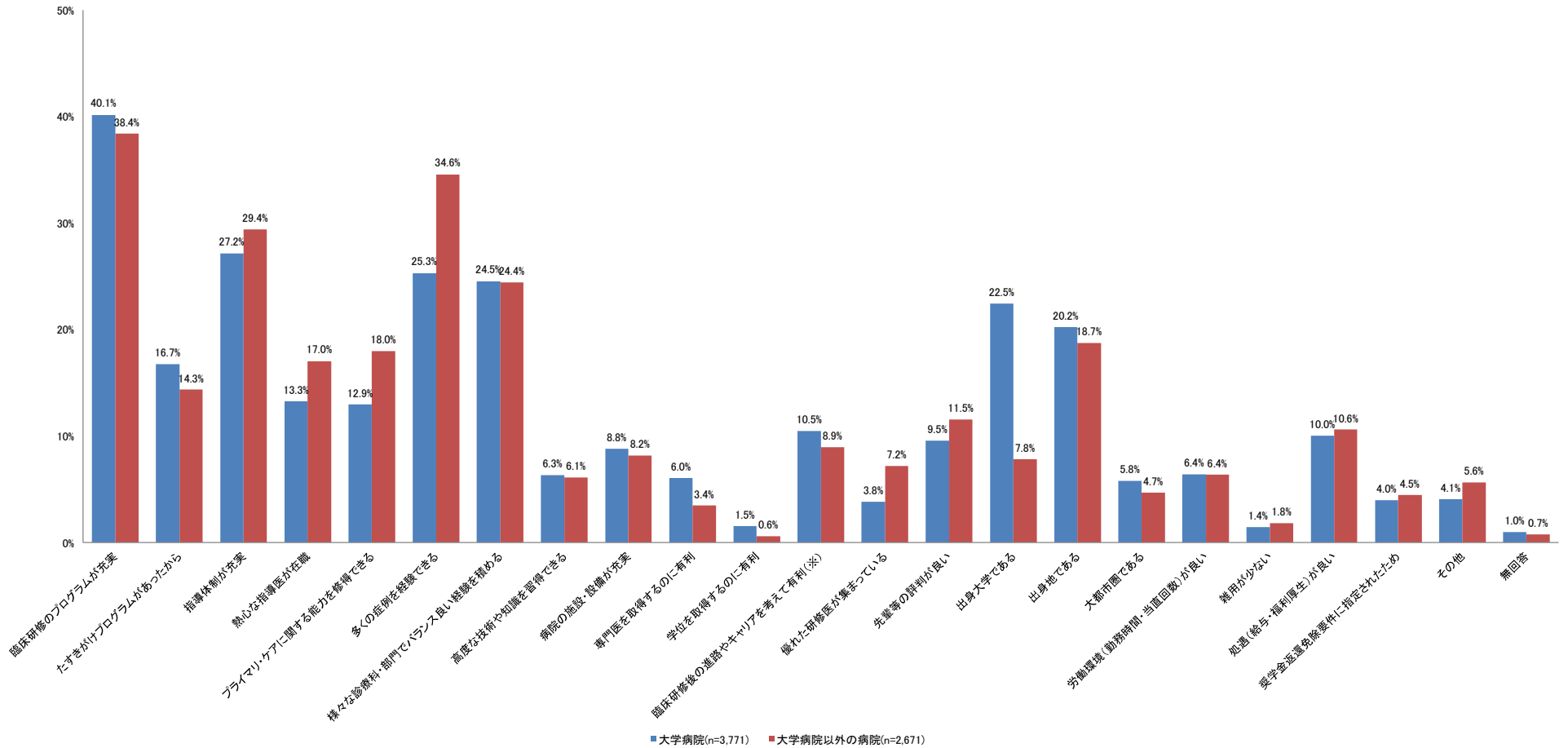
※内科系……内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心療内科

※外科系……外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科

※産婦人科…産婦人科、産科、婦人科 ※その他…放射線科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科 等

# 臨床研修を行った病院を選んだ理由（最大3つまで）

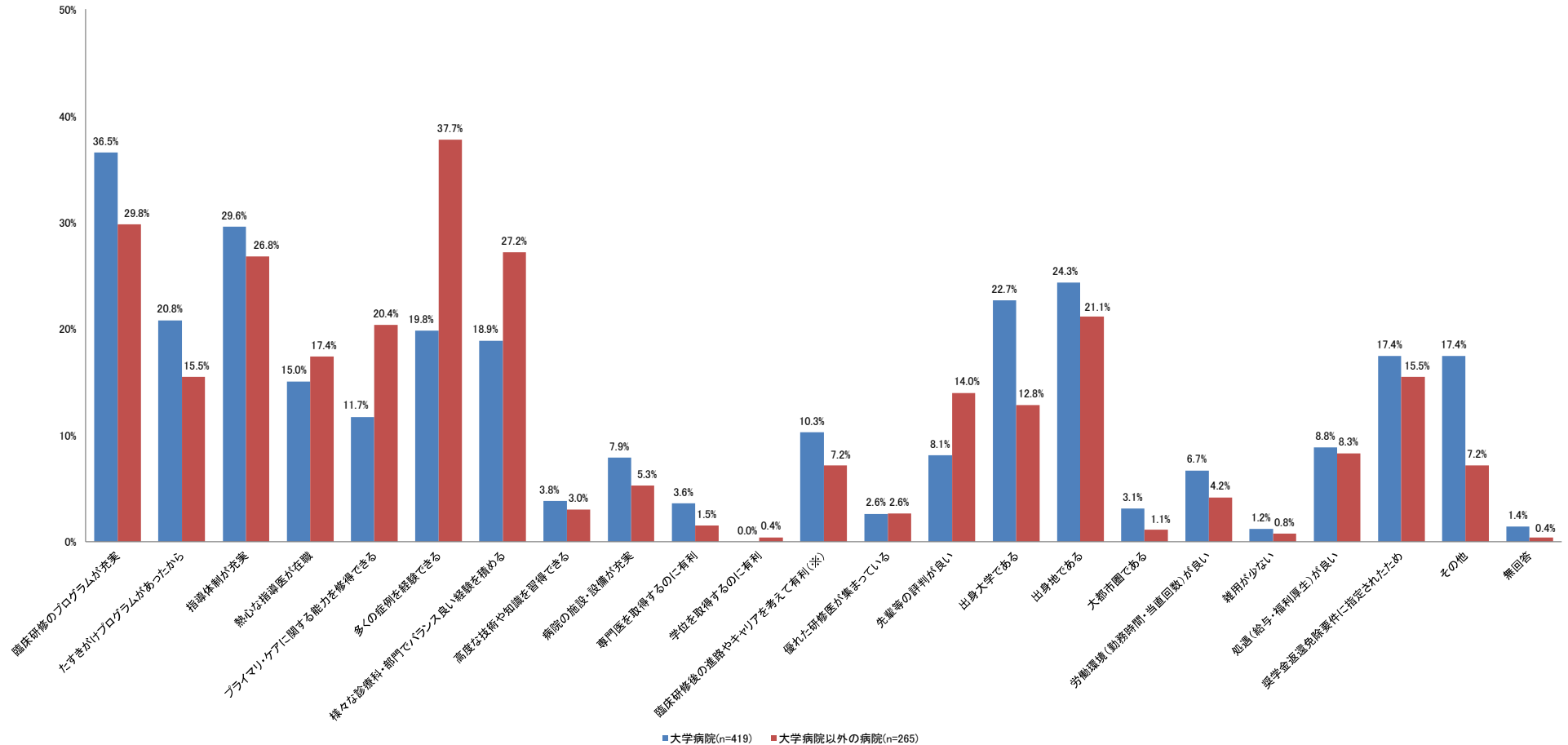
- 臨床研修を行った病院を選んだ理由は、大学病院、大学病院以外の病院ともに「臨床研修のプログラムが充実」が最も多く、「指導体制が充実」「多くの症例を経験できる」「様々な診療科・部門でバランス良い経験を積める」が4位までを占めている点も共通している。
- ただし、大学病院以外の病院では、「多くの症例を経験できる」が「臨床研修のプログラムが充実」に匹敵するほど多くなっている。



※「専門医を取得するのに有利」「学位を取得するのに有利」以外



# 臨床研修を行った病院を選んだ理由（最大3つまで） （地域枠入学者）

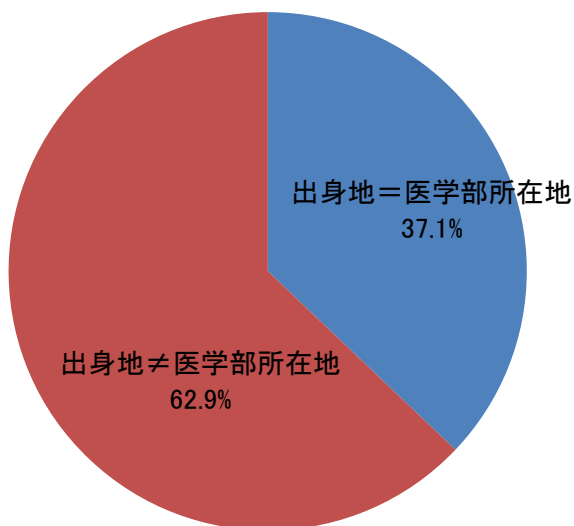


※「専門医を取得するのに有利」「学位を取得するのに有利」以外

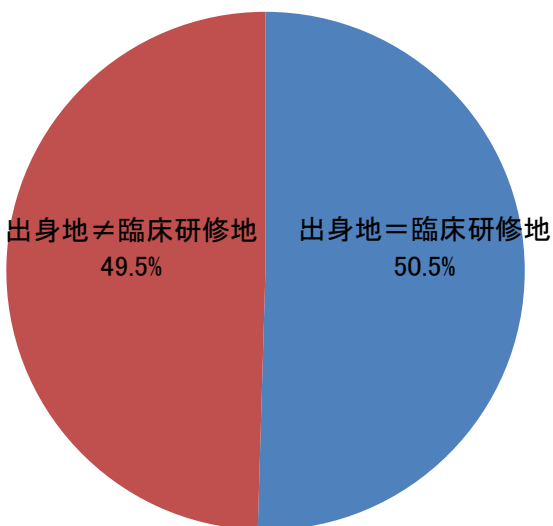
# 出身地とキャリアパスの関係について

# 出身地・医学部所在地・臨床研修地・希望勤務地の関係

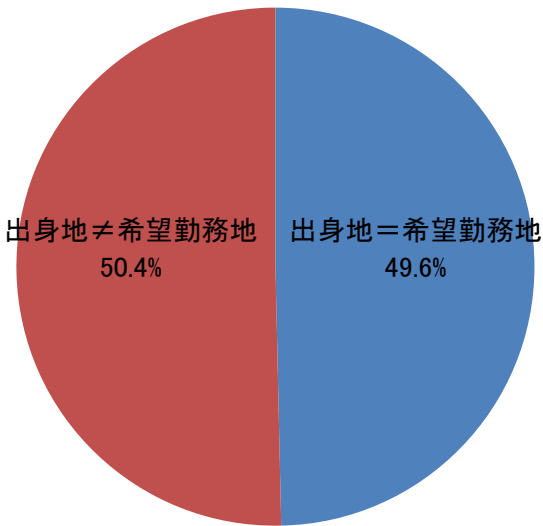
出身地と医学部所在地の関係 (n=6,728)



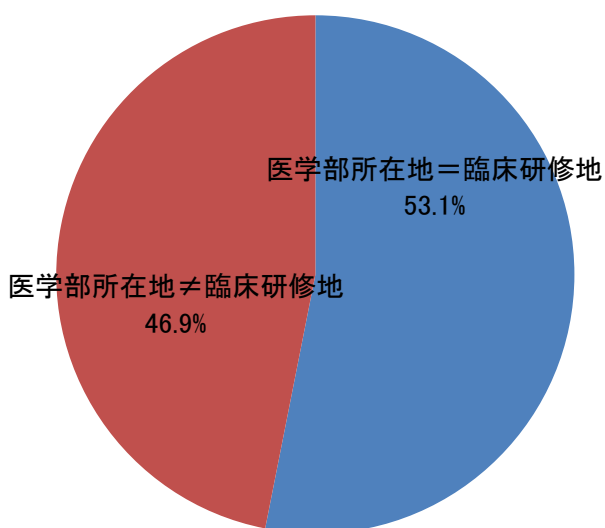
出身地と臨床研修地の関係 (n=6,767)



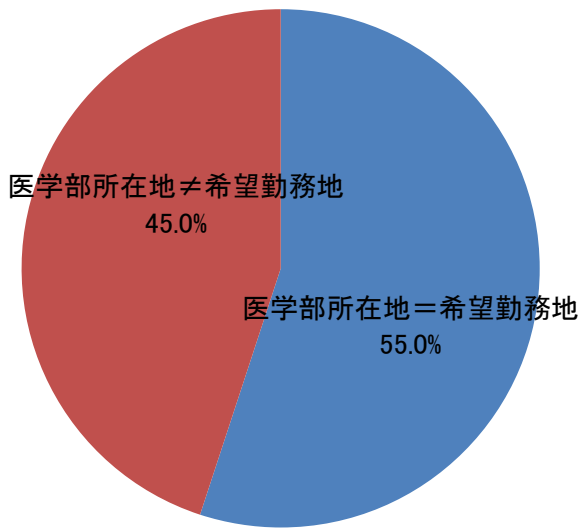
出身地と希望勤務地の関係 (n=6,577)



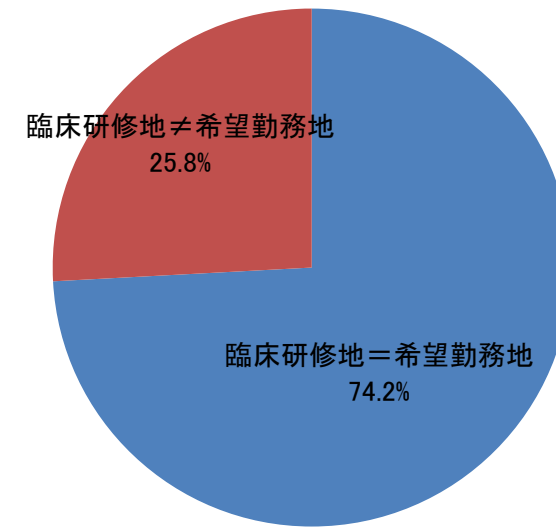
医学部所在地と臨床研修地の関係 (n=6,732)



医学部所在地と希望勤務地の関係 (n=6,550)



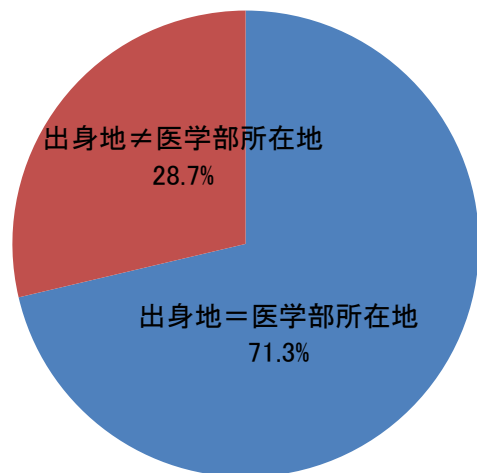
臨床研修地と希望勤務地の関係 (n=6,583)



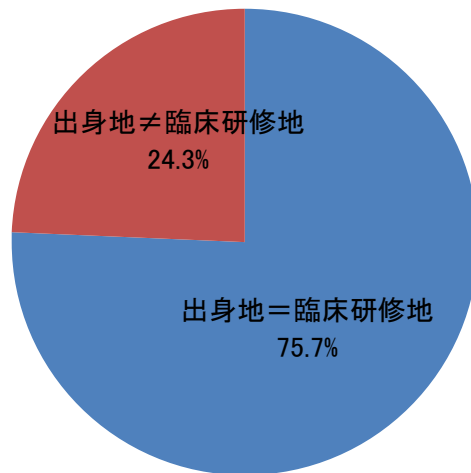
※出身地は高校卒業までに最も長く過ごした都道府県を指す。 ※データクリーニングの都合上、集計ごとに回答総数が異なる。

# 出身地・医学部所在地・臨床研修地・希望勤務地の関係 (地域枠入学者)

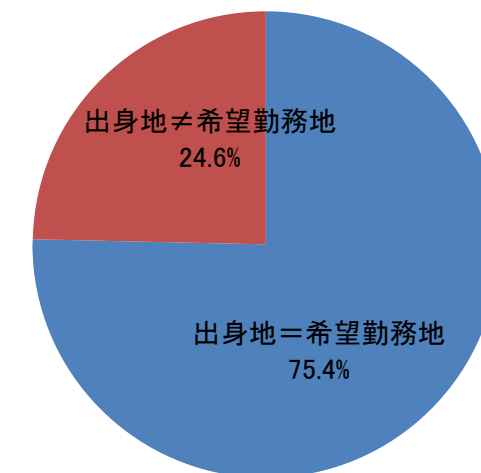
出身地と医学部所在地の関係 (n=708)



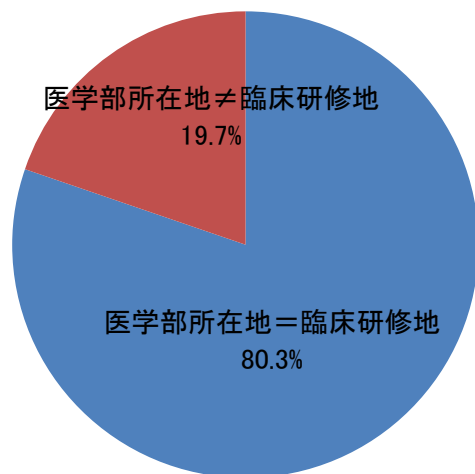
出身地と臨床研修地の関係 (n=715)



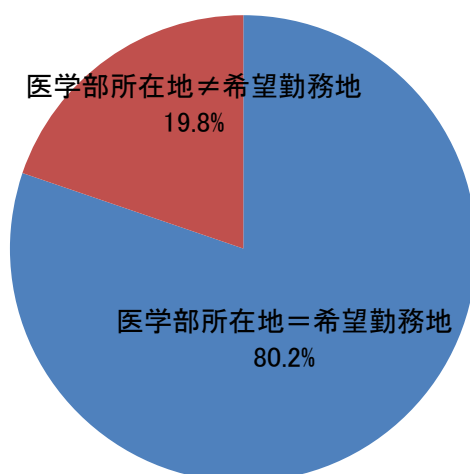
出身地と希望勤務地の関係 (n=698)



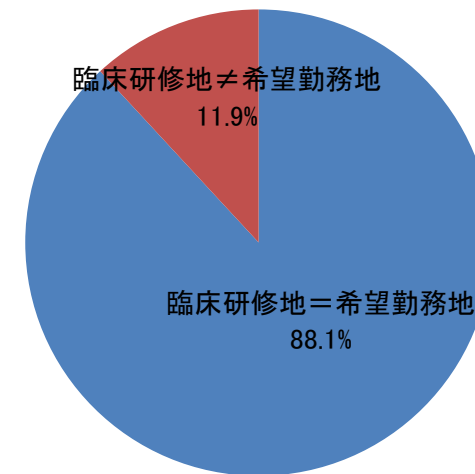
医学部所在地と臨床研修地の関係 (n=709)



医学部所在地と希望勤務地の関係 (n=693)



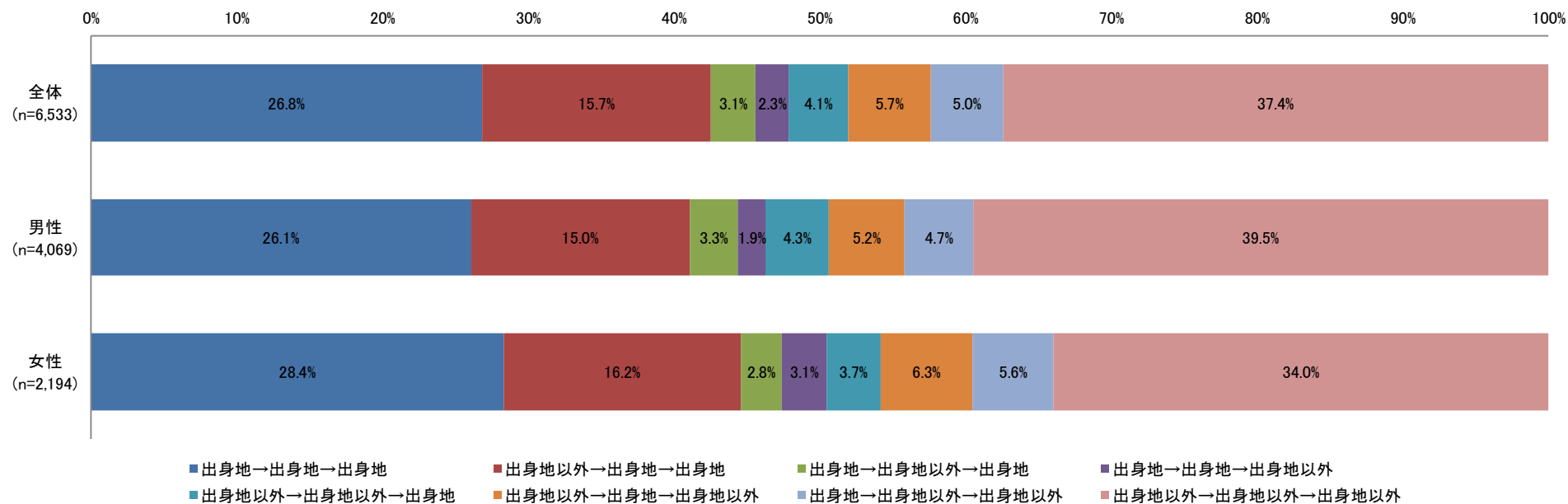
臨床研修地と希望勤務地の関係 (n=699)



※出身地は高校卒業までに最も長く過ごした都道府県を指す。 ※データクリーニングの都合上、集計ごとに回答総数が異なる。

# 医学部所在地・臨床研修地・希望勤務地と出身地の関係

- 医学部進学と同時に出身地を離れ、そのまま出身地に戻らないケースが最も多い(全体の4割弱)。
- 次いで、出身地の医学部に進学し、そのまま出身地を離れないケースが多い(全体の1/4)。

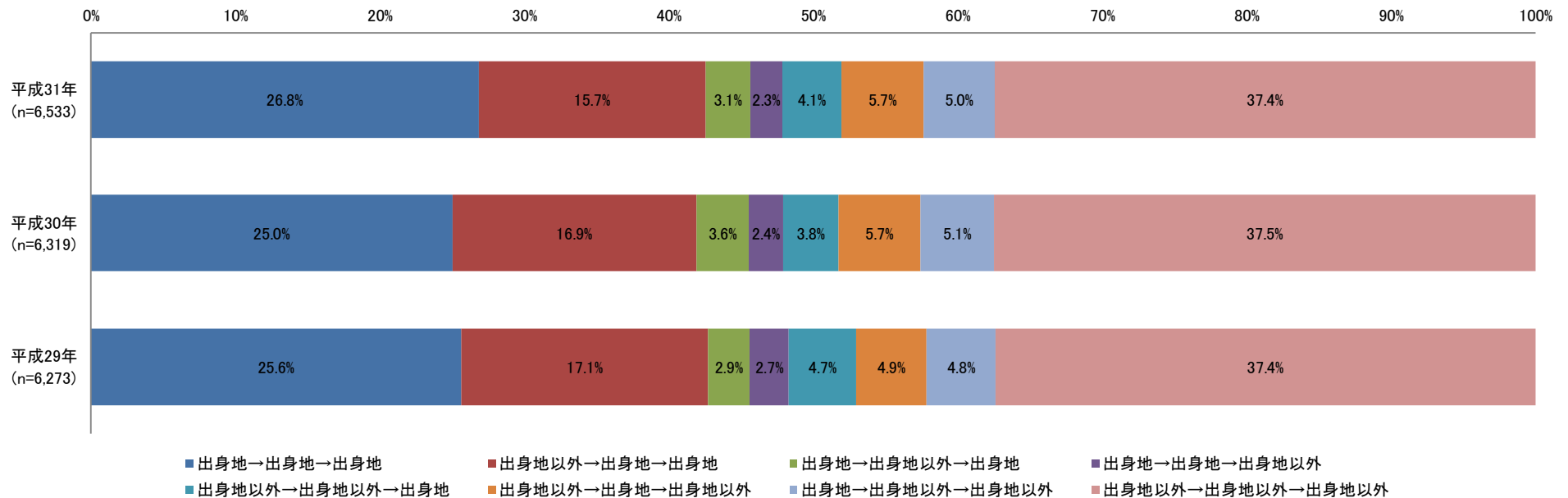


※「全体」には、性別無回答が含まれる(以下、同様)。

※グラフの凡例は、「医学部所在地」「臨床研修病院所在地」「臨床研修後の希望勤務地」について、それぞれ出身地と同一都道府県であるか否かを示している(例:「出身地以外→出身地以外→出身地」であれば、出身地以外で医学部を卒業して臨床研修を行い、出身地での勤務を希望する者を指す)。

※出身地は高校卒業までに最も長く過ごした都道府県を指す。 ※海外出身者及びデータ欠損者は除外している。

# 医学部所在地・臨床研修地・希望勤務地と出身地の関係 (過去3年の比較)

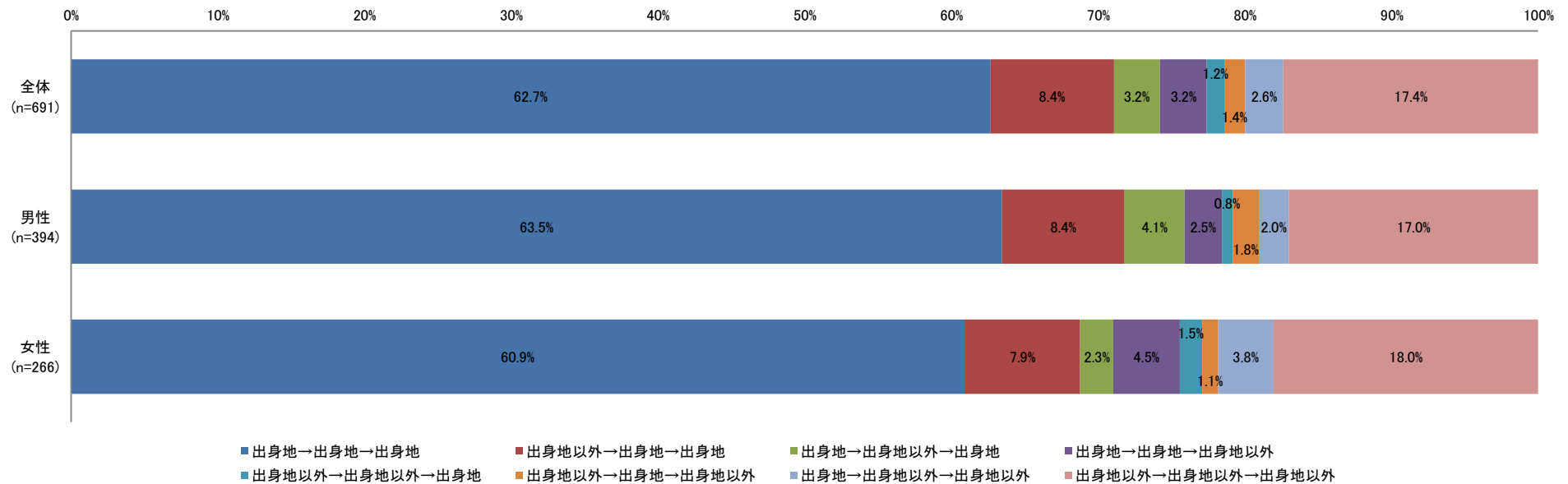


※「全体」には、性別無回答が含まれる(以下、同様)。

※グラフの凡例は、「医学部所在地」「臨床研修病院所在地」「臨床研修後の希望勤務地」について、それぞれ出身地と同一都道府県であるか否かを示している(例:「出身地以外→出身地以外→出身地」であれば、出身地以外で医学部を卒業して臨床研修を行い、出身地での勤務を希望する者を指す)。

※出身地は高校卒業までに最も長く過ごした都道府県を指す。 ※海外出身者及びデータ欠損者は除外している。

# 医学部所在地・臨床研修地・希望勤務地と出身地の関係 (地域枠入学者)



※「全体」には、性別無回答が含まれる(以下、同様)。

※グラフの凡例は、「医学部所在地」「臨床研修病院所在地」「臨床研修後の希望勤務地」について、それぞれ出身地と同一都道府県であるか否かを示している(例:「出身地以外→出身地以外→出身地」であれば、出身地以外で医学部を卒業して臨床研修を行い、出身地での勤務を希望する者を指す)。

※出身地は高校卒業までに最も長く過ごした都道府県を指す。 ※海外出身者及びデータ欠損者は除外している。

# 臨床研修前後での 希望診療科の変化について



# 臨床研修前後での将来希望する診療科の変化①

- 研修前後で希望診療科の変化がみられる。
- 研修後では、内科系、外科系、救急科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、形成外科は対前年度比増となっている。  
麻酔科、放射線科は減少傾向である。

診療科	研修前				研修後				参考：全医師に対する割合(平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査)
	人数	割合※1	(参考H30)	(参考H29)	人数	割合※1	(参考H30)	(参考H29)	
内科系※2	2,522	37.1%	35.4%	35.6%	2,247	33.0%	31.7%	33.0%	37.3%
外科系※3	756	11.1%	11.2%	11.4%	649	9.5%	9.0%	9.4%	9.2%
小児科	556	8.2%	8.0%	7.7%	415	6.1%	6.4%	6.4%	5.6%
産婦人科※4	399	5.9%	5.5%	4.5%	348	5.1%	5.2%	4.2%	4.3%
麻酔科	214	3.1%	3.4%	3.5%	322	4.7%	4.9%	5.0%	3.0%
救急科	187	2.7%	2.4%	2.4%	204	3.0%	2.9%	2.7%	1.1%
精神科	226	3.3%	3.6%	4.0%	311	4.6%	4.6%	4.3%	5.1%

※1・・・アンケート回答総数(6,806名)に対する割合

※2・・・内科系(内科、腎内、血内、糖尿病、呼内、循内、消内、神内、アレルギー、リウマチ、感染症、心療内科)

※3・・・外科系(外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、心臓血管外科、気管食道外科、肛門外科、小児外科)

※4・・・産婦人科(産婦人科、産科、婦人科)

## 臨床研修前後での将来希望する診療科の変化②

診療科	研修前				研修後				参考：全医師に 対する割合(平成 28年医師・歯科医 師・薬剤師調査)
	人数	割合	(参考H30)	(参考H29)	人数	割合	(参考H30)	(参考H29)	
皮膚科	178	2.6%	2.4%	2.4%	232	3.4%	3.6%	3.1%	3.0%
整形外科	369	5.4%	5.7%	6.2%	380	5.6%	6.1%	5.8%	7.0%
眼科	165	2.4%	2.4%	2.7%	220	3.2%	3.6%	3.3%	4.3%
耳鼻 咽喉科	149	2.2%	2.3%	2.0%	204	3.0%	2.8%	2.4%	3.0%
泌尿器科	145	2.1%	2.2%	2.1%	200	2.9%	2.9%	2.7%	2.3%
脳神経 外科	166	2.4%	2.4%	2.3%	189	2.8%	2.4%	2.4%	2.4%
放射線科	117	1.7%	2.0%	2.2%	151	2.2%	2.8%	3.4%	2.2%
病理 診断科	52	0.8%	0.7%	0.9%	64	0.9%	0.9%	1.0%	0.6%
形成外科	112	1.6%	1.7%	1.6%	164	2.4%	1.9%	1.9%	0.9%
リハビリ科	26	0.4%	0.6%	0.4%	43	0.6%	0.8%	0.6%	0.8%
その他 無回答	467	6.9%	8.3%	8.1%	463	6.8%	7.6%	8.5%	—

# 臨床研修前後での将来希望する診療科の変化(男女別割合)

○男女別にみると、産婦人科、皮膚科、形成外科は、女性の割合が研修前後とも5割を超えている。

診療科	研修前					研修後				
	合計	男性		女性		合計	男性		女性	
		人数	割合	人数	割合		人数	割合	人数	割合
内科系	2,522	1,653	65.5%	757	30.0%	2,247	1,482	66.0%	678	30.2%
外科系	756	558	73.8%	164	21.7%	649	460	70.9%	158	24.3%
小児科	556	284	51.1%	257	46.2%	415	229	55.2%	174	41.9%
産婦人科	399	130	32.6%	257	64.4%	348	130	37.4%	203	58.3%
麻酔科	214	95	44.4%	113	52.8%	322	133	41.3%	171	53.1%
救急科	187	129	69.0%	49	26.2%	204	131	64.2%	63	30.9%
精神科	226	147	65.0%	69	30.5%	311	207	66.6%	94	30.2%
皮膚科	178	55	30.9%	115	64.6%	232	72	31.0%	151	65.1%
整形外科	369	307	83.2%	49	13.3%	380	312	82.1%	54	14.2%
眼科	165	91	55.2%	65	39.4%	220	104	47.3%	104	47.3%
耳鼻咽喉科	149	98	65.8%	44	29.5%	204	129	63.2%	65	31.9%
泌尿器科	145	112	77.2%	25	17.2%	200	158	79.0%	34	17.0%
脳神経外科	166	135	81.3%	22	13.3%	189	153	81.0%	24	12.7%
放射線科	117	85	72.6%	27	23.1%	151	104	68.9%	35	23.2%
病理診断科	52	26	50.0%	23	44.2%	64	30	46.9%	30	46.9%
形成外科	112	46	41.1%	64	57.1%	164	71	43.3%	91	55.5%
リハビリ科	26	14	53.8%	9	34.6%	43	27	62.8%	14	32.6%
その他 無回答	467	258	55.2%	172	36.8%	463	291	62.9%	138	29.8%

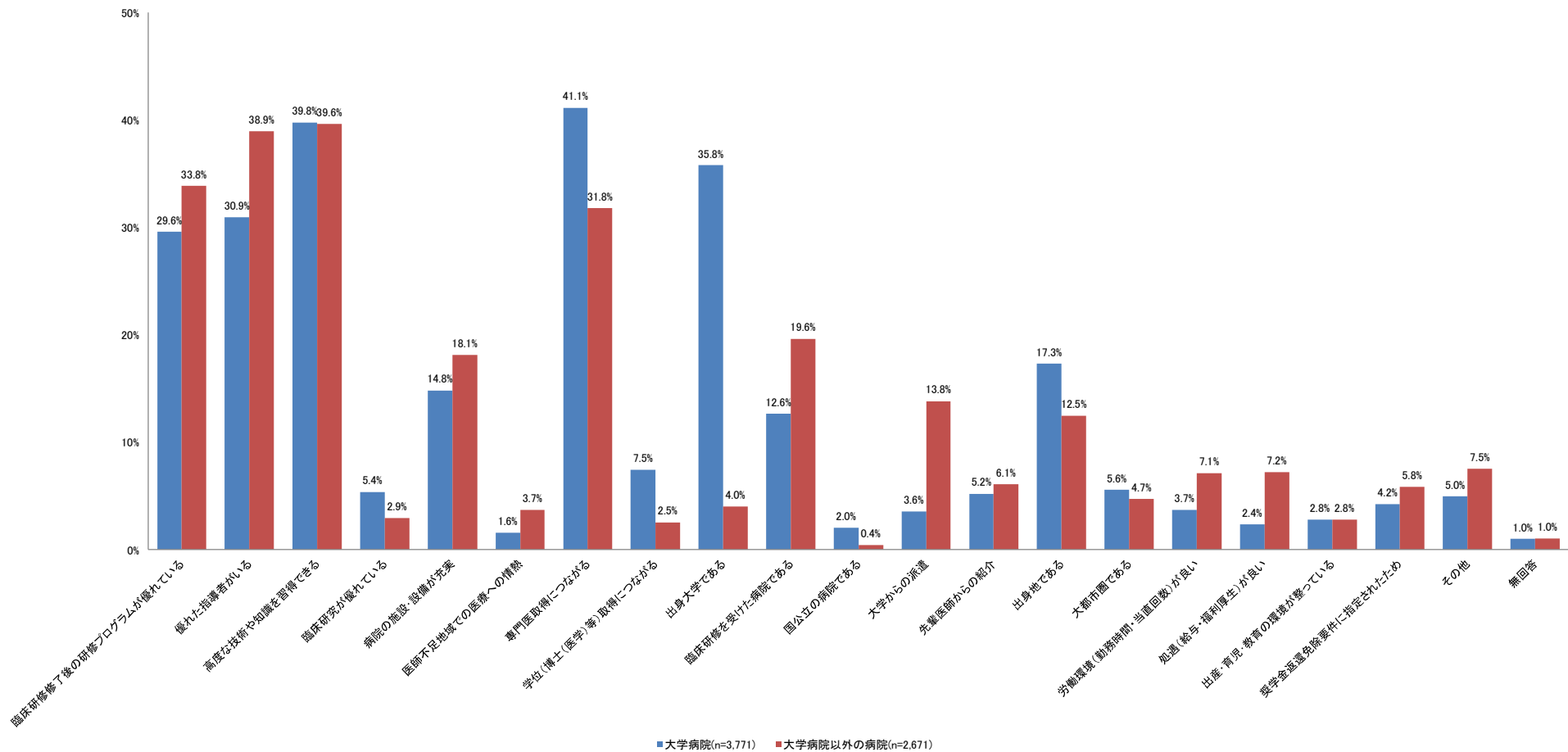
## 臨床研修前後での将来希望する診療科の変化(男女別割合) (地域枠入学者)

診療科	研修前					研修後				
	合計	男性		女性		合計	男性		女性	
		人数	割合	人数	割合		人数	割合	人数	割合
内科系	276	169	61.2%	95	34.4%	251	153	61.0%	88	35.1%
外科系	81	57	70.4%	22	27.2%	76	52	68.4%	21	27.6%
小児科	73	42	57.5%	27	37.0%	57	36	63.2%	17	29.8%
産婦人科	61	18	29.5%	41	67.2%	53	14	26.4%	36	67.9%
麻酔科	26	8	30.8%	17	65.4%	37	13	35.1%	23	62.2%
救急科	16	9	56.3%	6	37.5%	20	16	80.0%	4	20.0%
精神科	19	10	52.6%	7	36.8%	27	16	59.3%	10	37.0%
皮膚科	14	1	7.1%	12	85.7%	25	2	8.0%	22	88.0%
整形外科	31	29	93.5%	1	3.2%	29	25	86.2%	2	6.9%
眼科	11	3	27.3%	6	54.5%	22	8	36.4%	10	45.5%
耳鼻咽喉科	15	7	46.7%	6	40.0%	21	8	38.1%	12	57.1%
泌尿器科	13	11	84.6%	2	15.4%	15	11	73.3%	3	20.0%
脳神経外科	16	11	68.8%	4	25.0%	13	10	76.9%	2	15.4%
放射線科	9	6	66.7%	2	22.2%	9	9	100%	0	0%
病理診断科	4	3	75.0%	1	25.0%	5	2	40.0%	3	60.0%
形成外科	10	5	50.0%	5	50.0%	9	4	44.4%	5	55.6%
リハビリ科	3	1	33.3%	2	66.7%	5	4	80.0%	1	20.0%
その他 無回答	39	18	46.2%	18	46.2%	43	25	58.1%	15	34.9%

# 希望進路別の集計

# 勤務を希望する病院等を選んだ理由（最大3つまで）

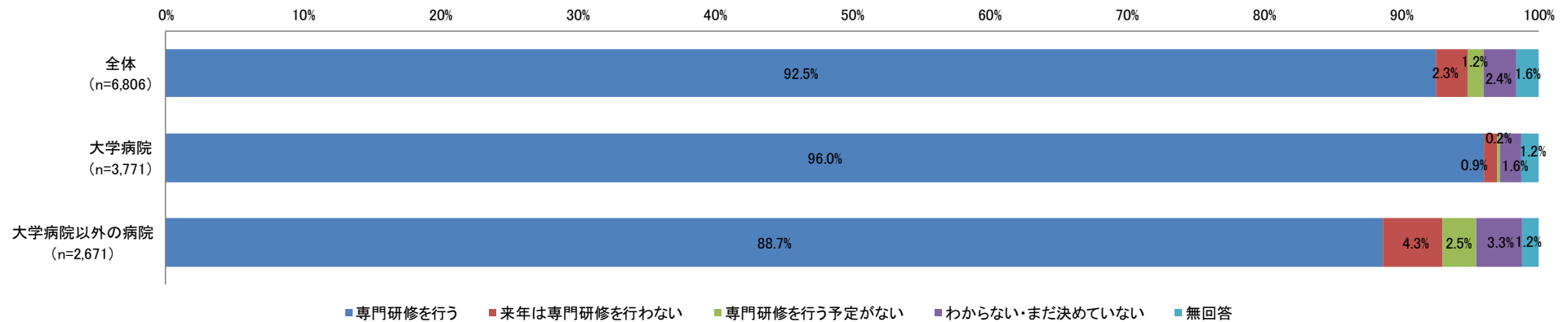
- 勤務を希望する病院等を選んだ理由について、「臨床研修修了後の研修プログラムが優れている」「優れた指導者がいる」「高度な技術や知識を習得できる」「専門医取得につながる」が多い。
- 病院種別ごとに大きな差があるものとして、大学病院では「出身大学である」「専門医取得につながる」が多く、大学病院以外の病院では「優れた指導者がいる」「臨床研修を受けた病院である」が多い。



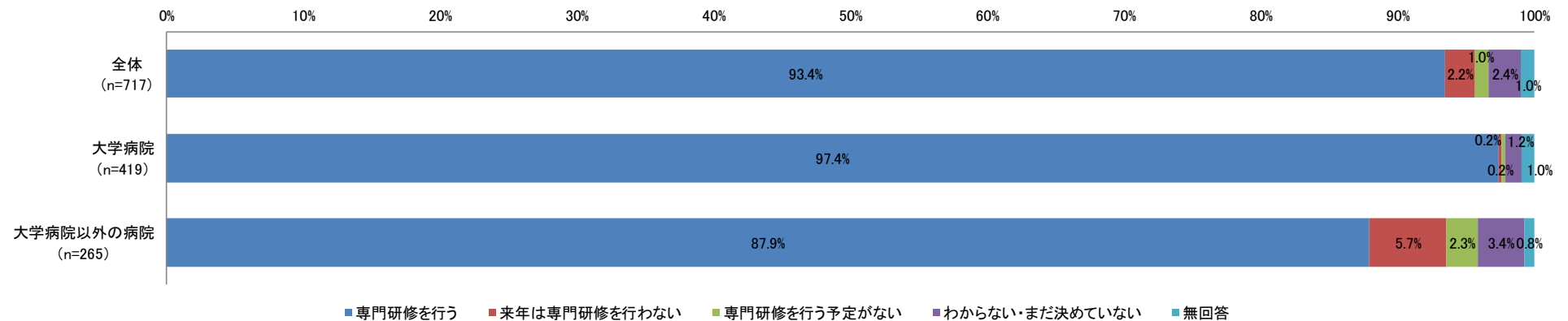
# 専門研修実施予定

○大学病院での勤務を希望するの方が、大学病院以外の病院での勤務を希望する者よりも、専門研修を行う割合が高い。

## <全体>

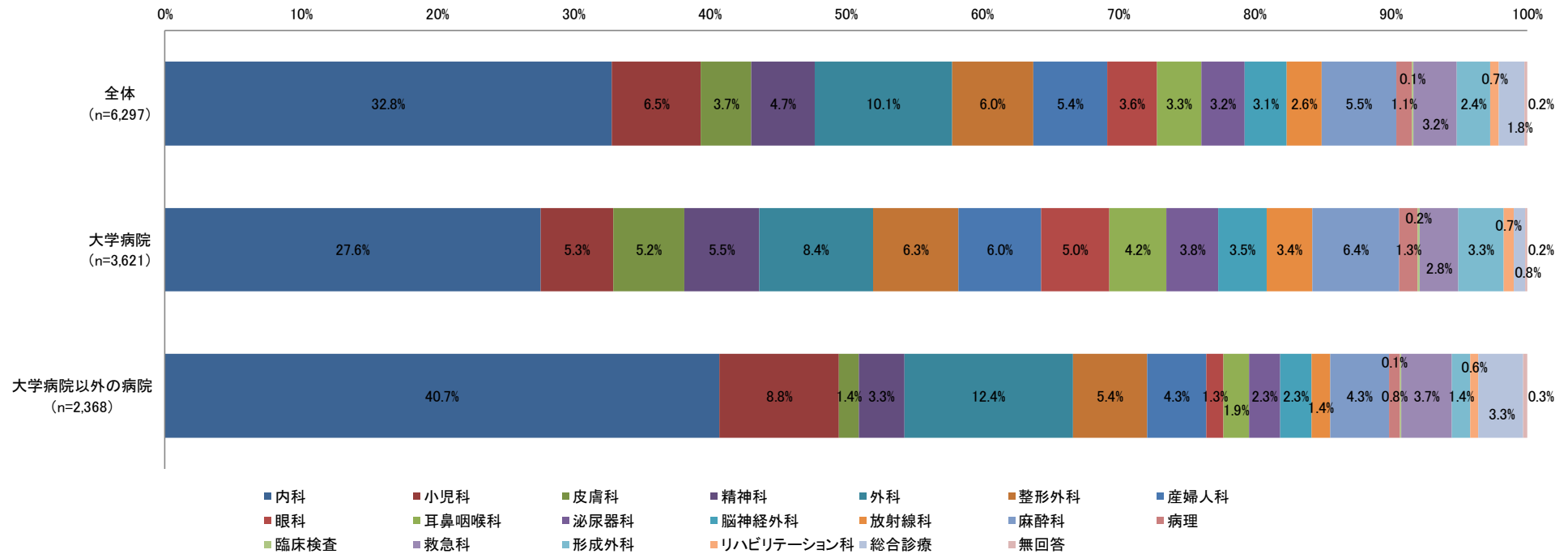


## <地域枠>



# 専門研修を行う分野

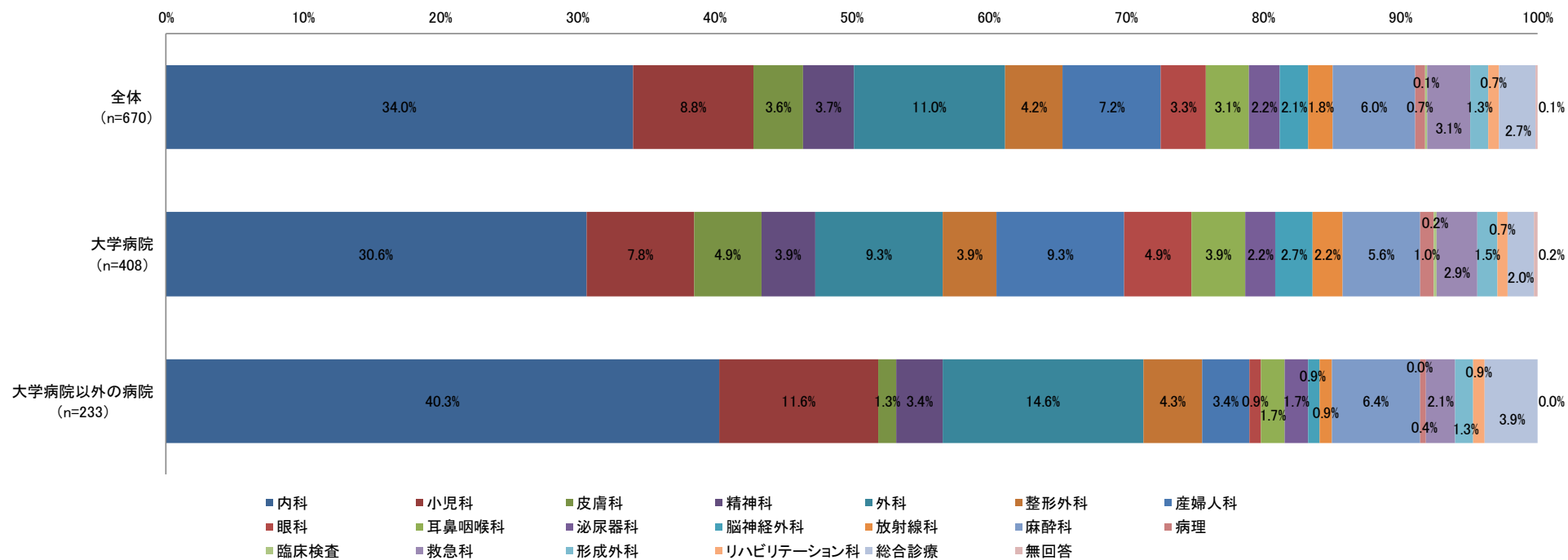
○全体では、内科が最も多く、次いで外科が多い。大学病院での勤務を希望するの方が、大学病院以外の病院での勤務を希望する者と比べて、専門研修を行う分野のバラつきがある。



※「専門研修を行う」と回答した者。

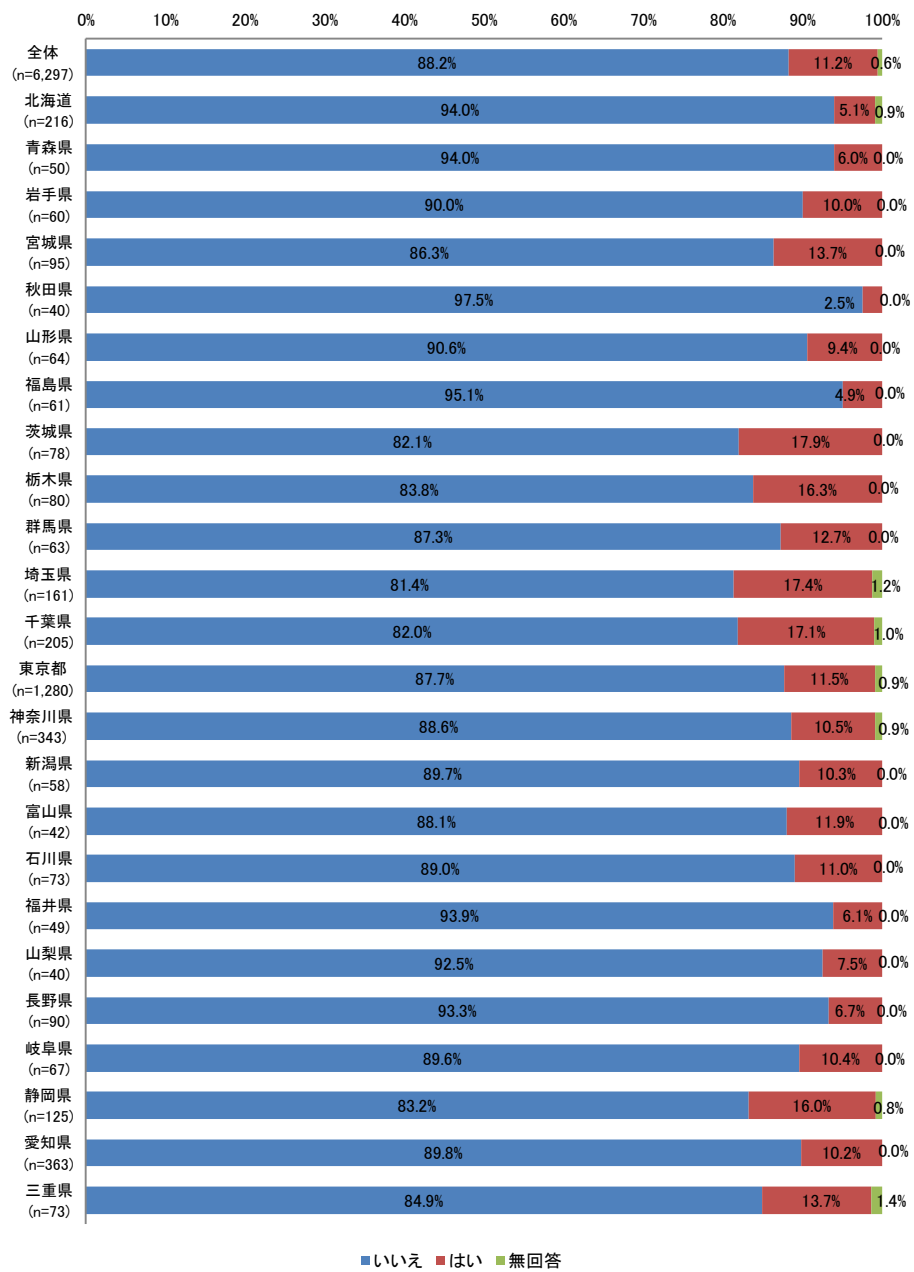


# 専門研修を行う分野（地域枠入学者）

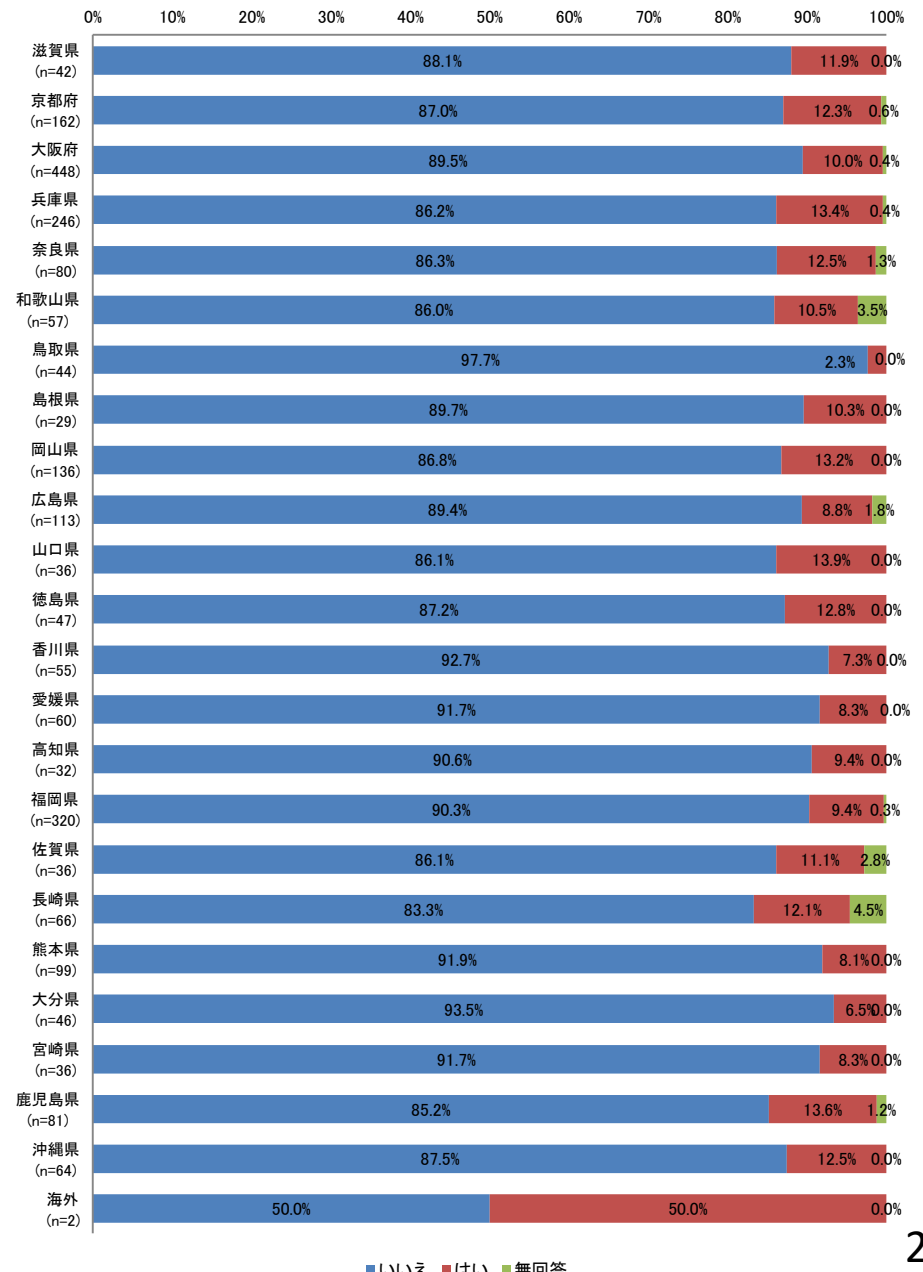


※「専門研修を行う」と回答した者。

# 専門研修プログラムを選ぶ際、希望分野を優先して研修を行う都道府県を変更したか（希望勤務地別）

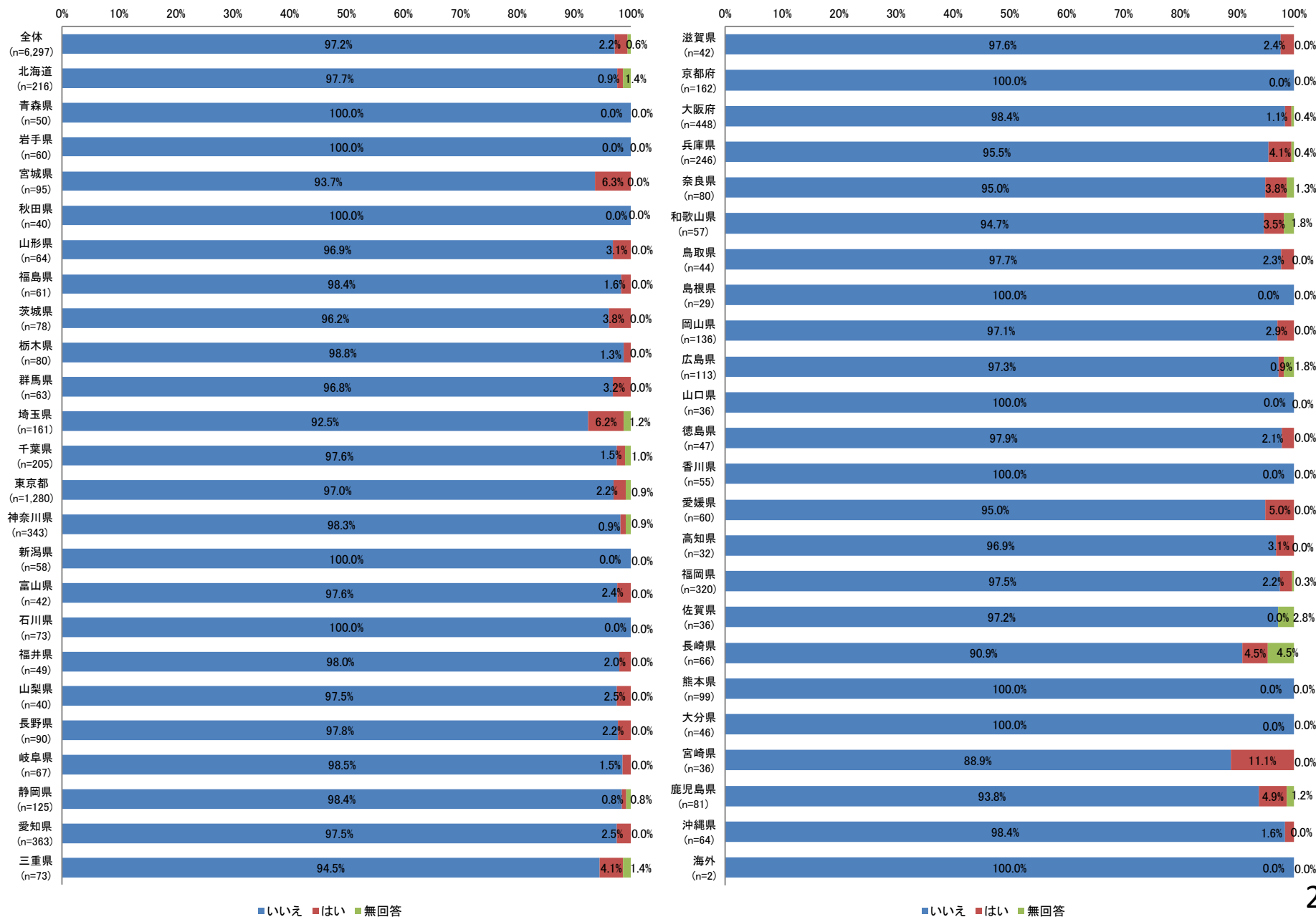


■いいえ ■はい ■無回答

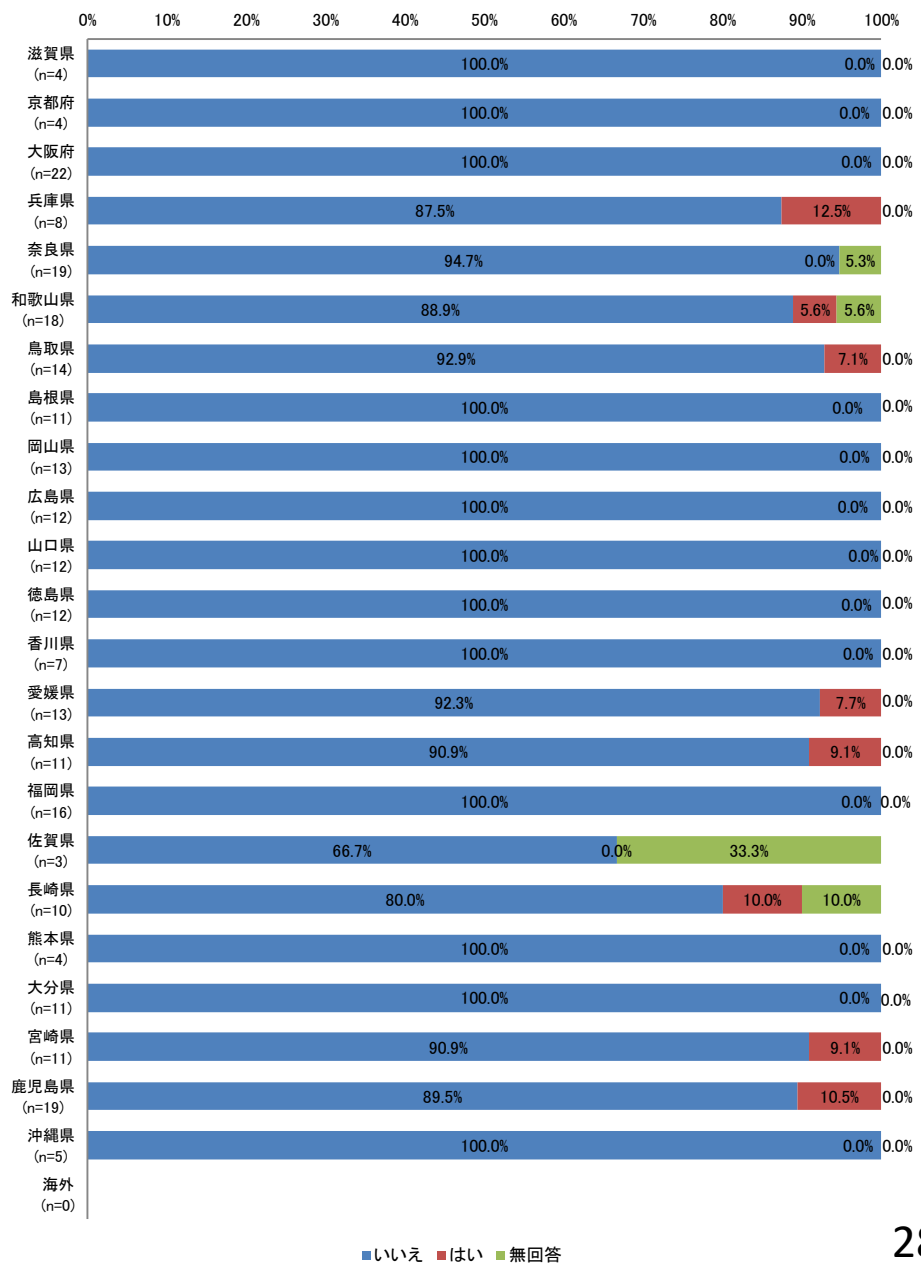
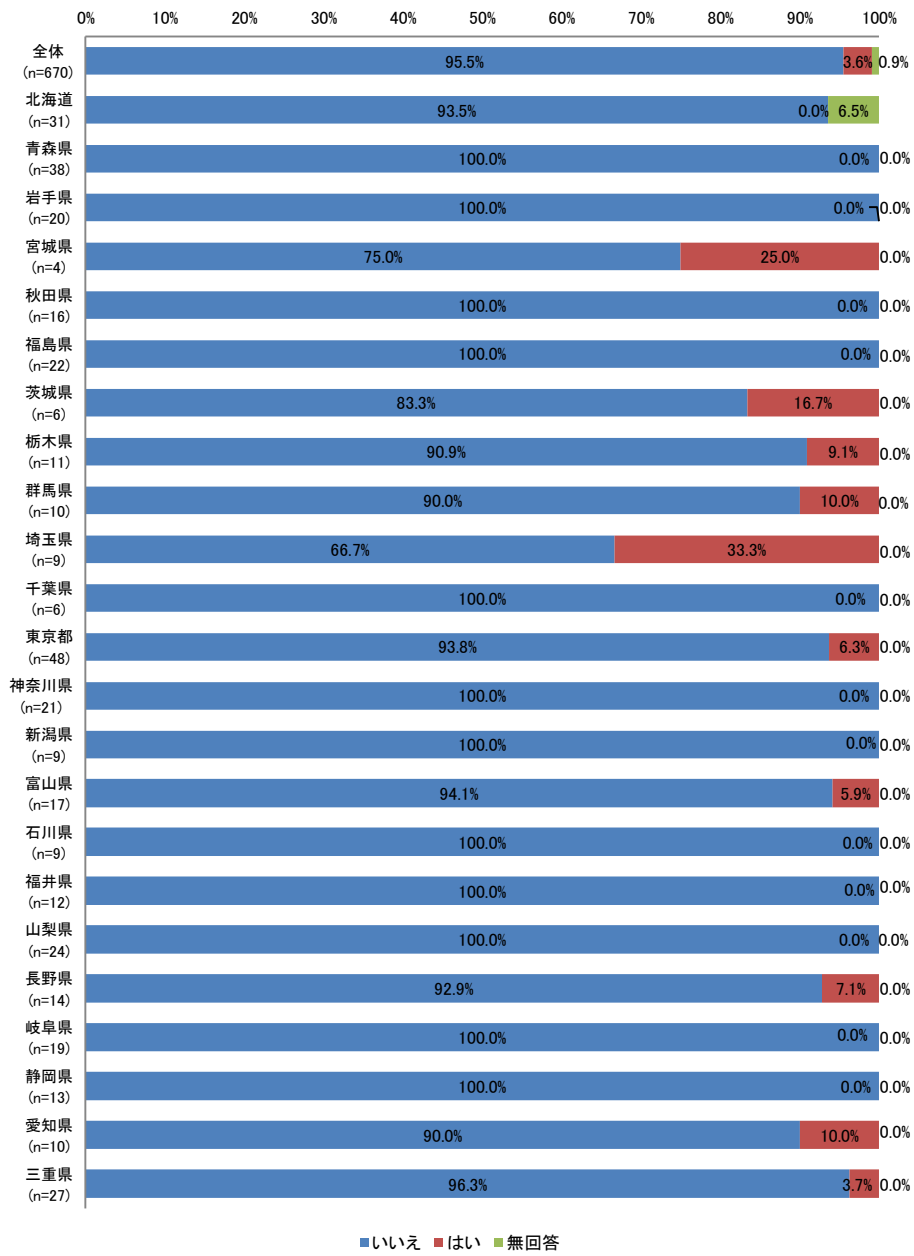


■いいえ ■はい ■無回答

# 専門研修プログラムを選ぶ際、希望する都道府県を優先して 専攻する分野を変更したか（希望勤務地別）



# 専門研修プログラムを選ぶ際、希望する都道府県を優先して専攻する分野を変更したか（希望勤務地別）（地域枠入学者）



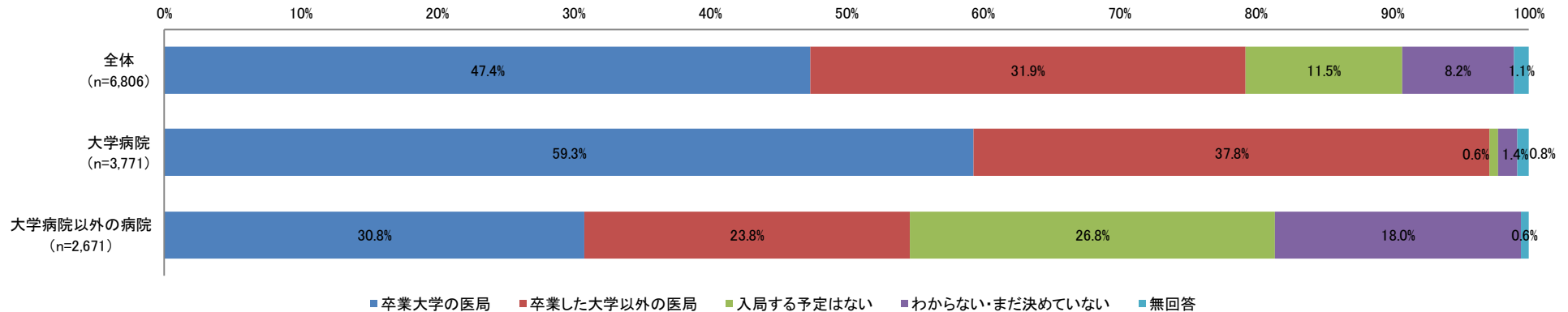
専門研修プログラムを選ぶ際、希望する都道府県を優先して  
専攻する分野を変更した人数（地域枠入学者）

	人数	割合
内科	4	16.7%
産婦人科	4	16.7%
小児科	2	8.3%
皮膚科	2	8.3%
外科	2	8.3%
精神科	1	4.2%
整形外科	1	4.2%
耳鼻咽喉科	1	4.2%
救急科	1	4.2%
形成外科	1	4.2%
無回答	5	20.8%
合計	24	100%

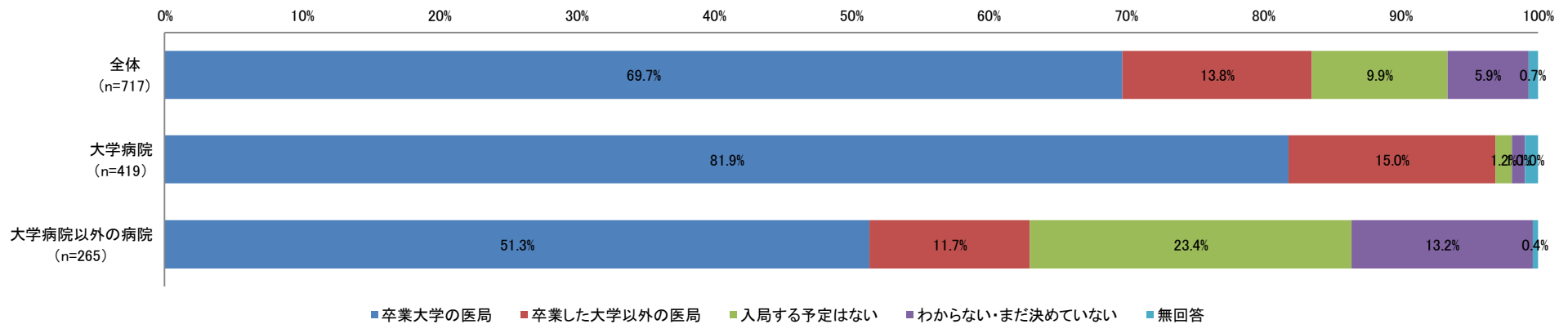
# 医局入局予定

○大学病院での勤務を希望する者では約97%、大学病院以外の病院での勤務を希望する者では5割強が医局入局予定となっている。

## <全体>



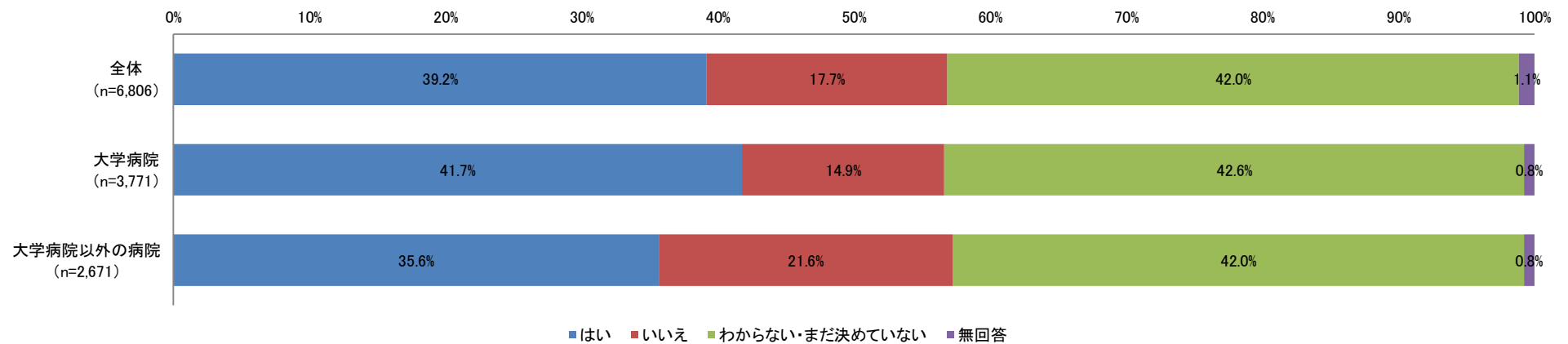
## <地域枠>



※「全体」には、希望勤務先として「診療所を開設」「臨床医以外の進路(基礎医学、行政機関等)」を回答した者や無回答が含まれる(以下、同様)。

## 博士（医学）取得希望

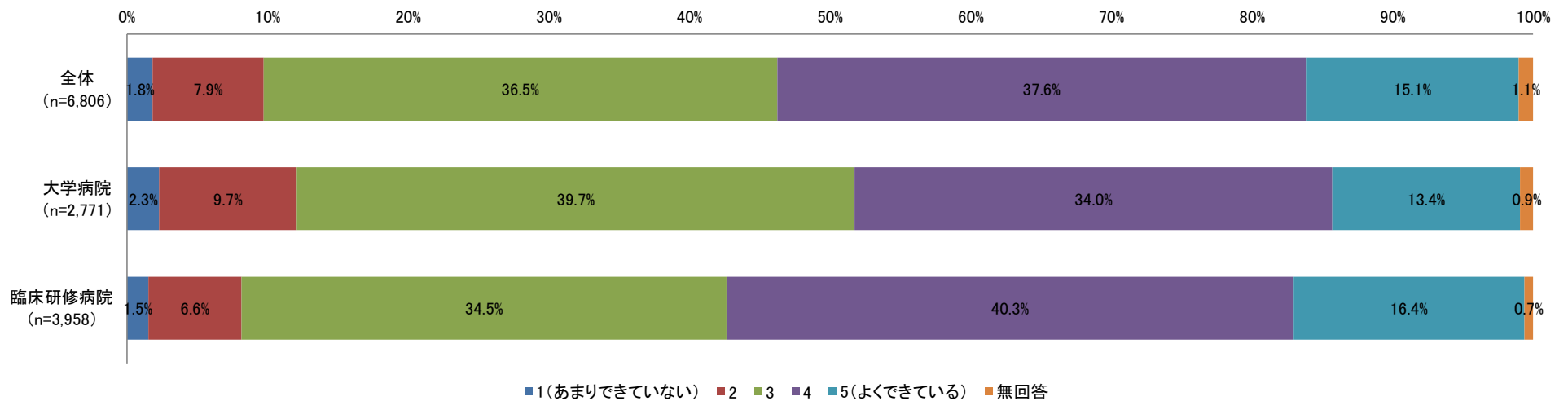
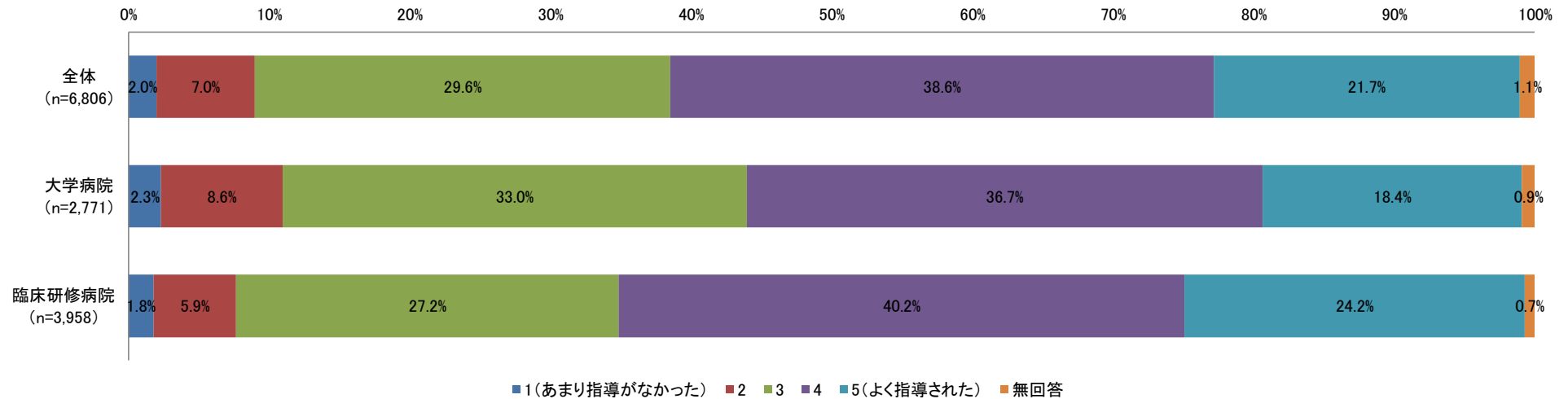
○博士（医学）取得を希望する者は全体の4割で、大学病院での勤務を希望するの方が、大学病院以外の病院での勤務を希望する者よりもその割合が高い。



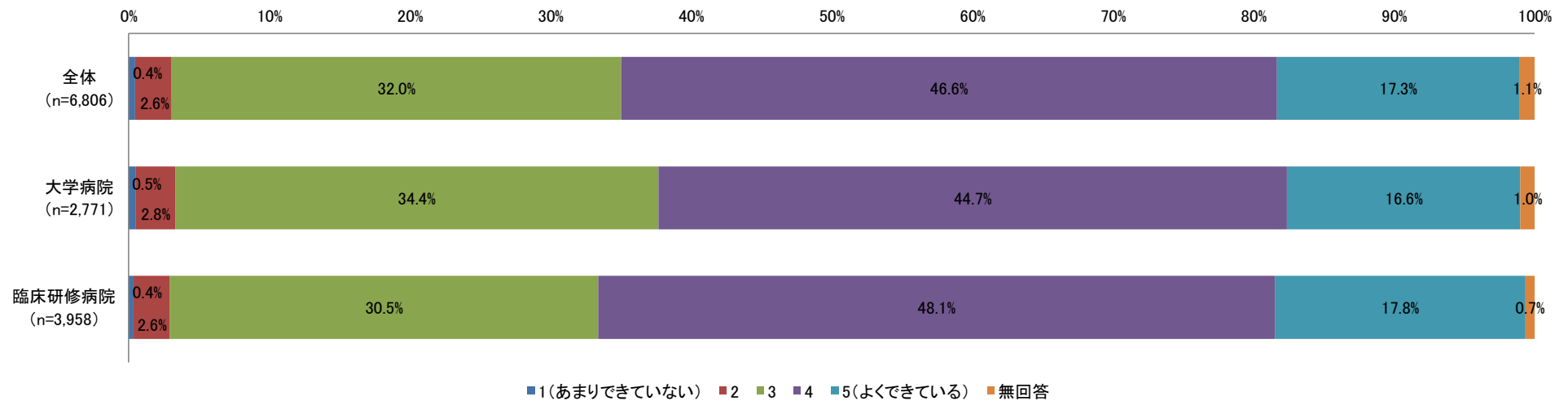
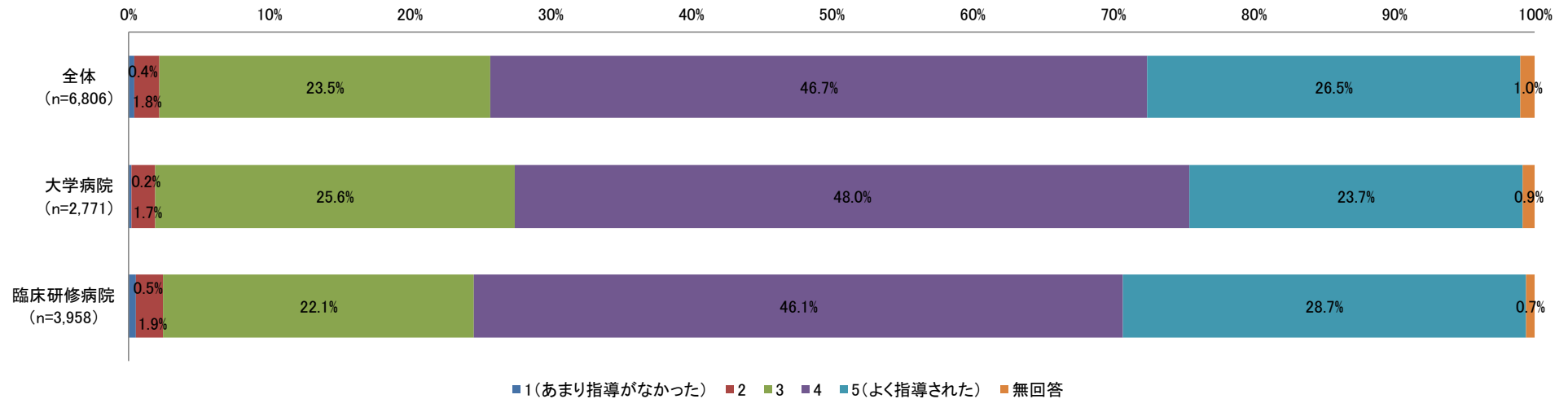
# 診療能力等についての指導の 有無と自己評価



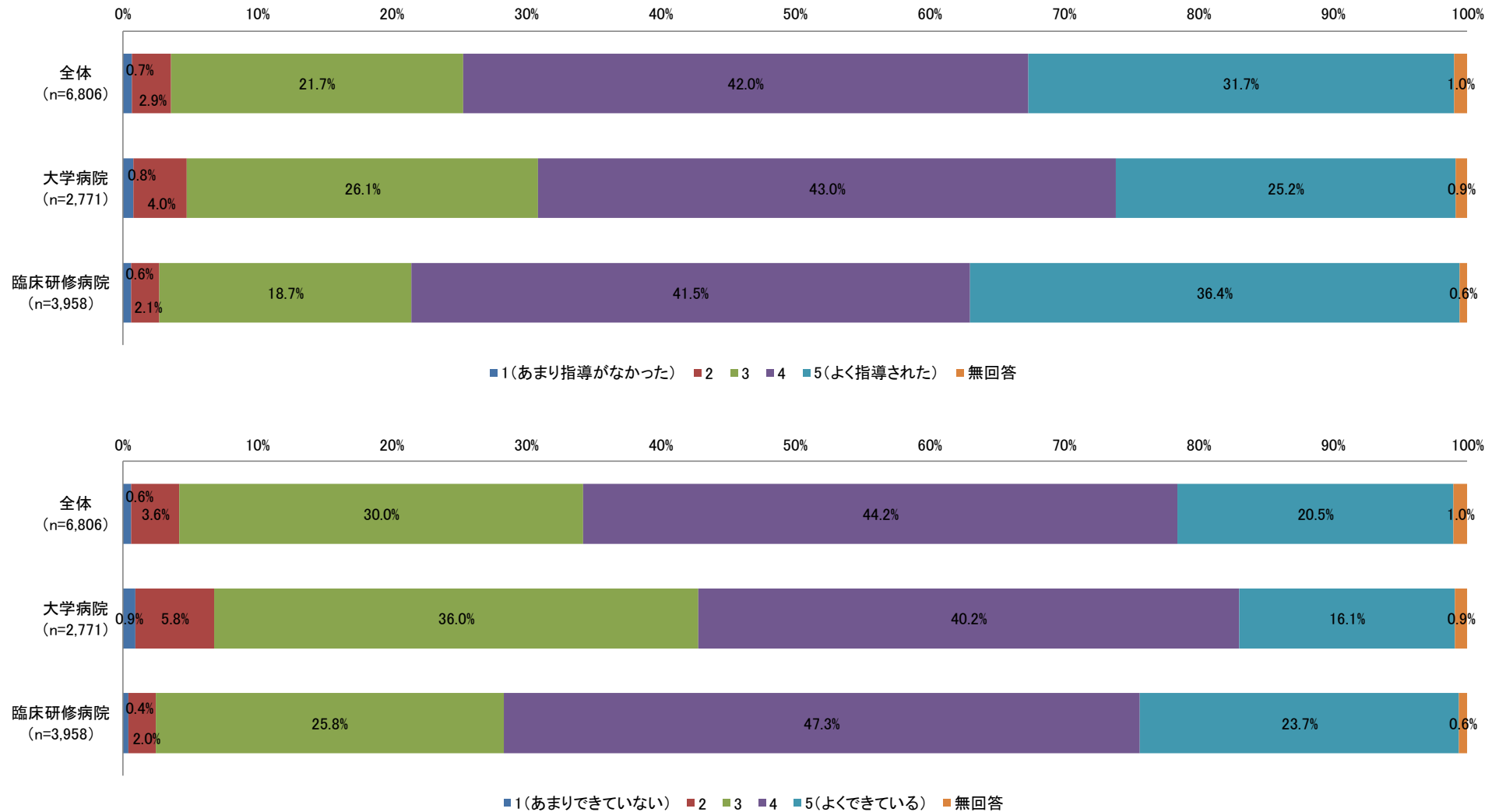
# 診療能力等についての指導の有無と自己評価 一般外来における診療能力



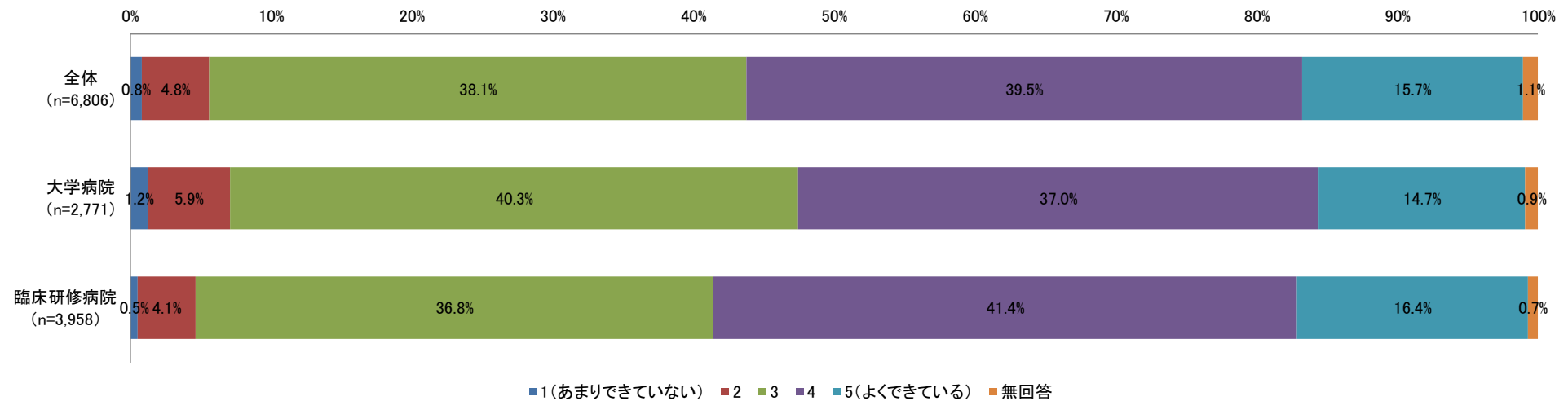
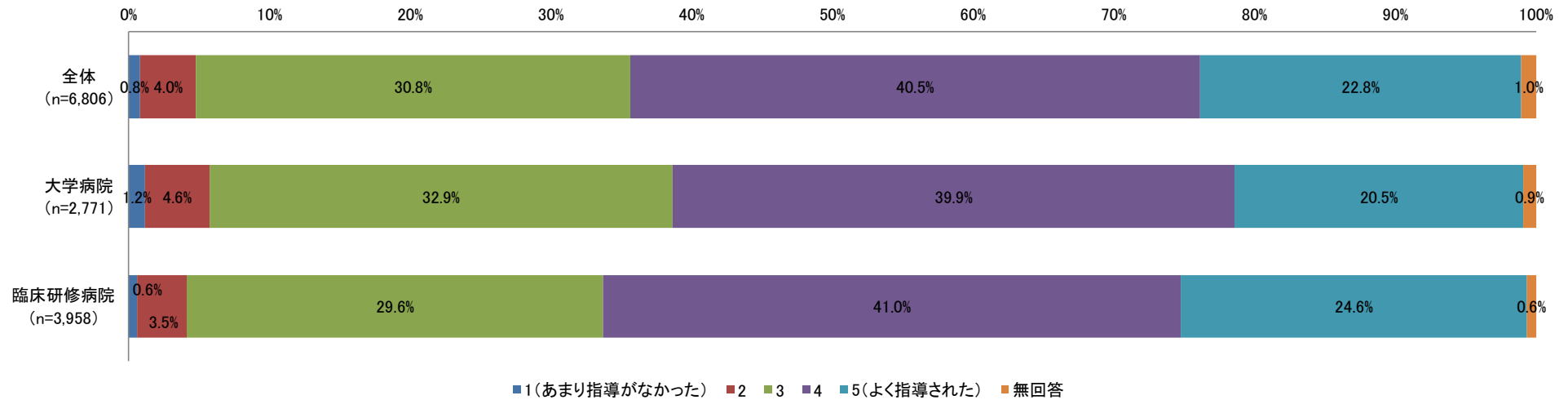
# 診療能力等についての指導の有無と自己評価 病棟における診療能力



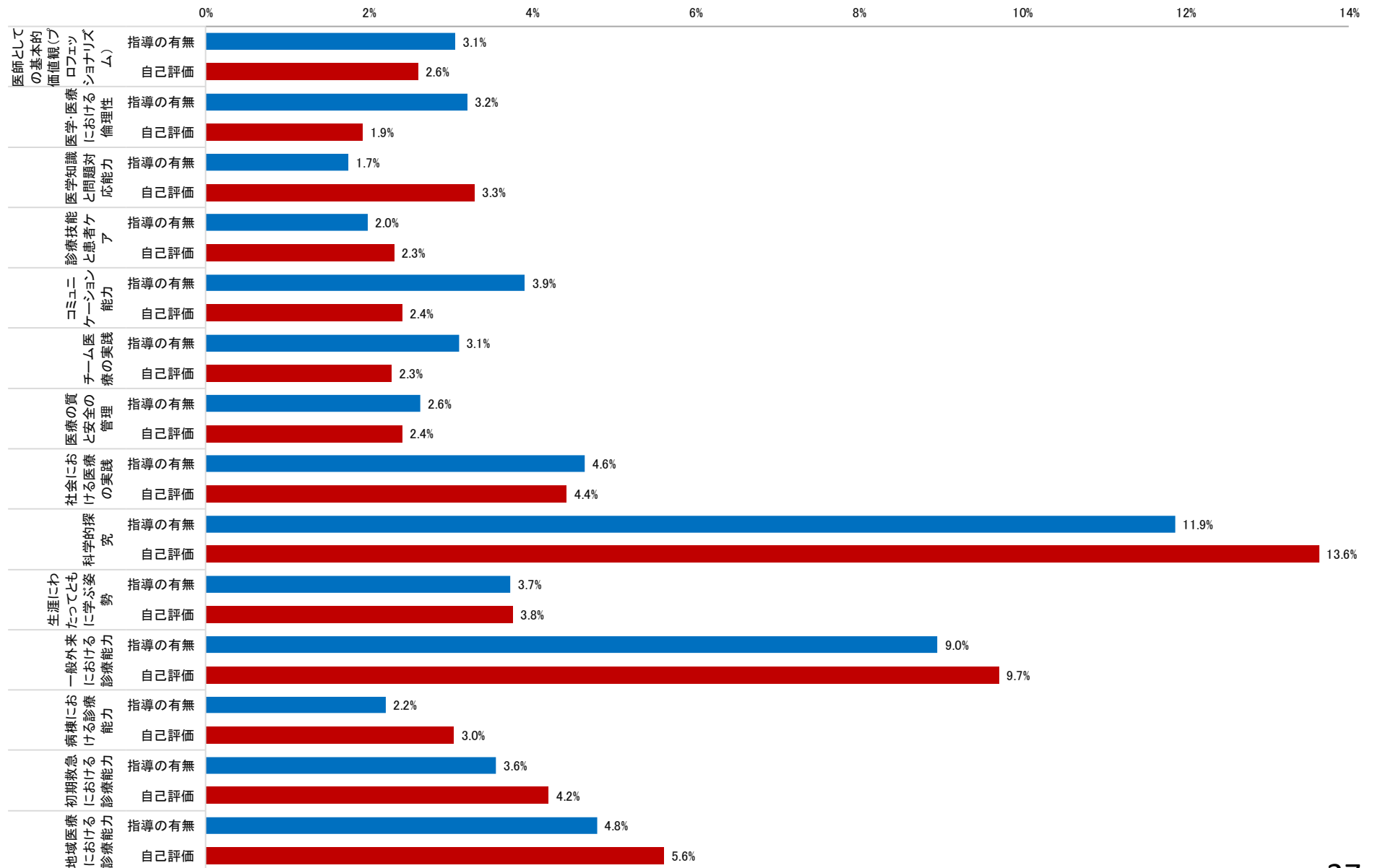
# 診療能力等についての指導の有無と自己評価 初期救急における診療能力



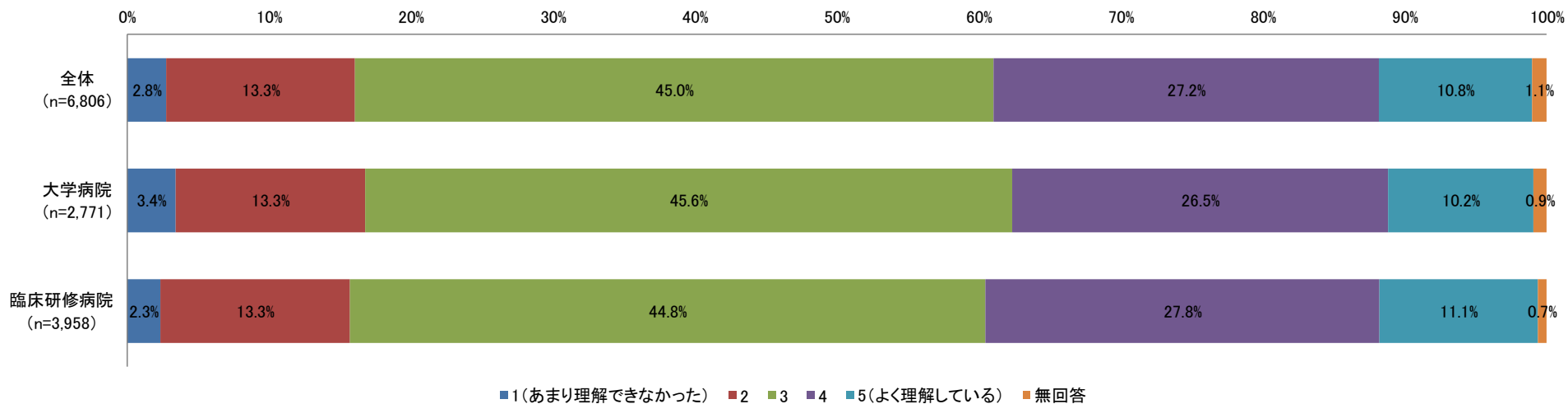
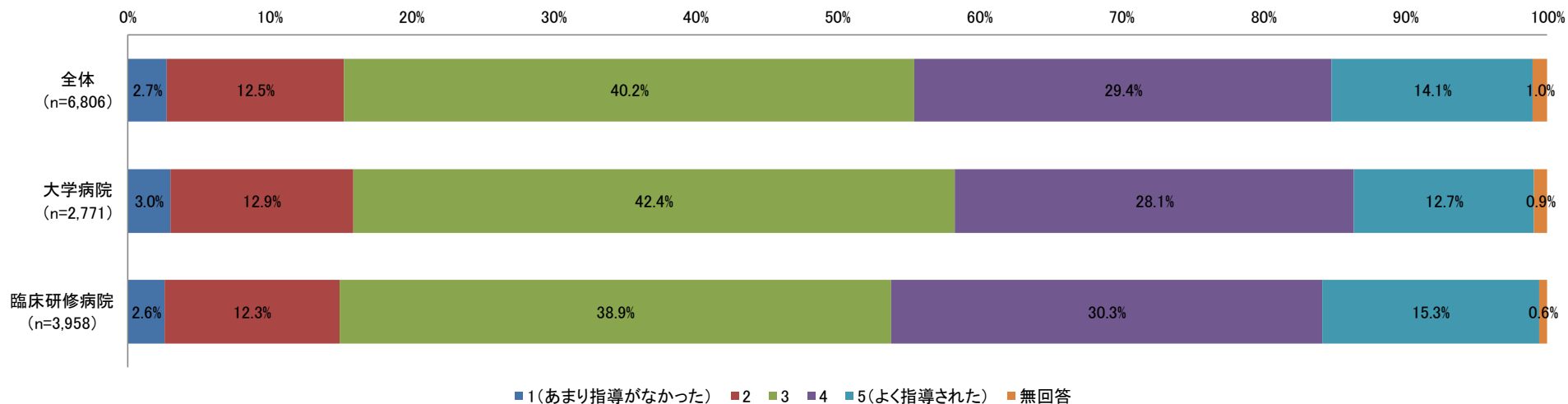
# 診療能力等についての指導の有無と自己評価 地域医療における診療能力



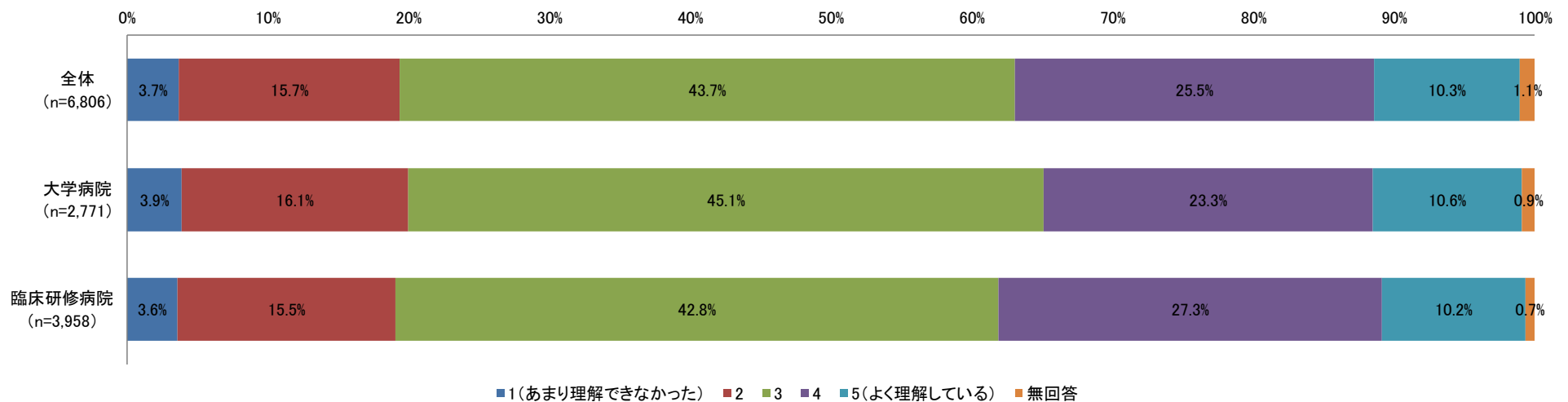
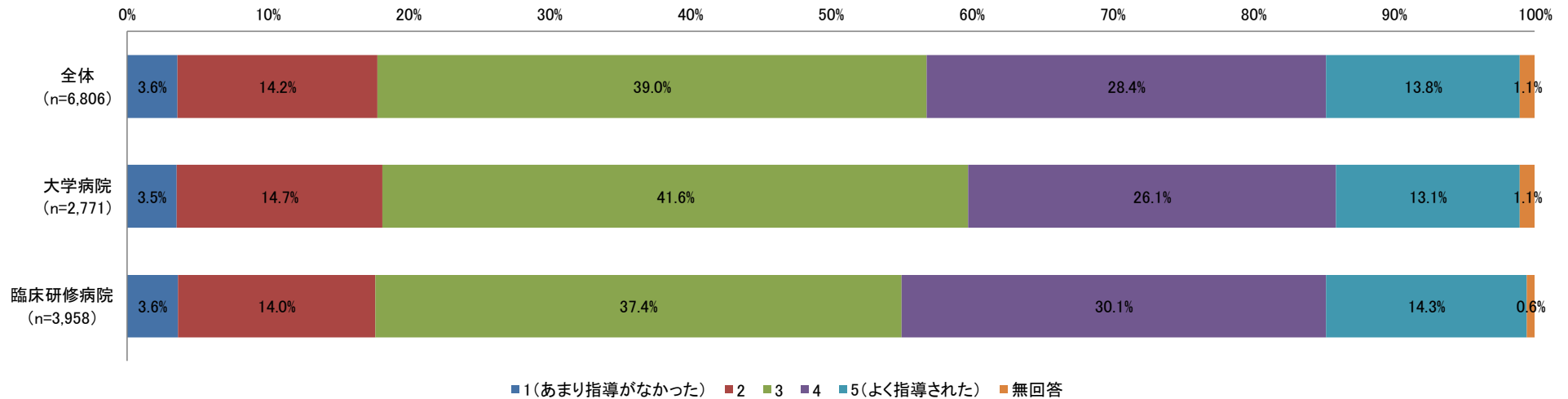
# 診療能力等についての指導の有無と自己評価 「1」または「2」と回答した割合（全体）



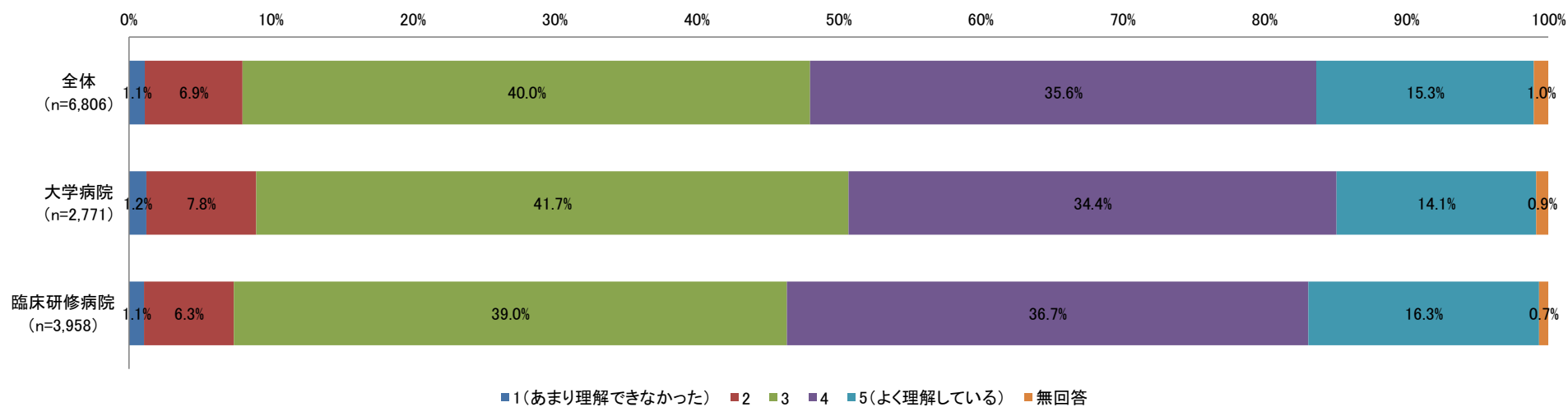
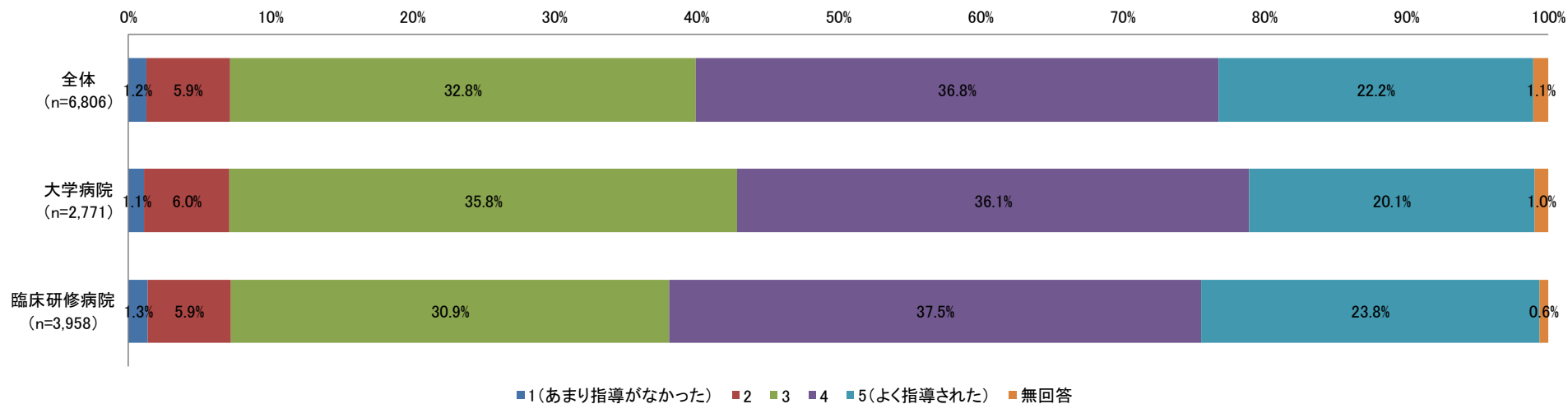
# 医療の持つ社会的側面を踏まえた指導の有無と理解度 地域包括ケアシステムの推進



# 医療の持つ社会的側面を踏まえた指導の有無と理解度 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要

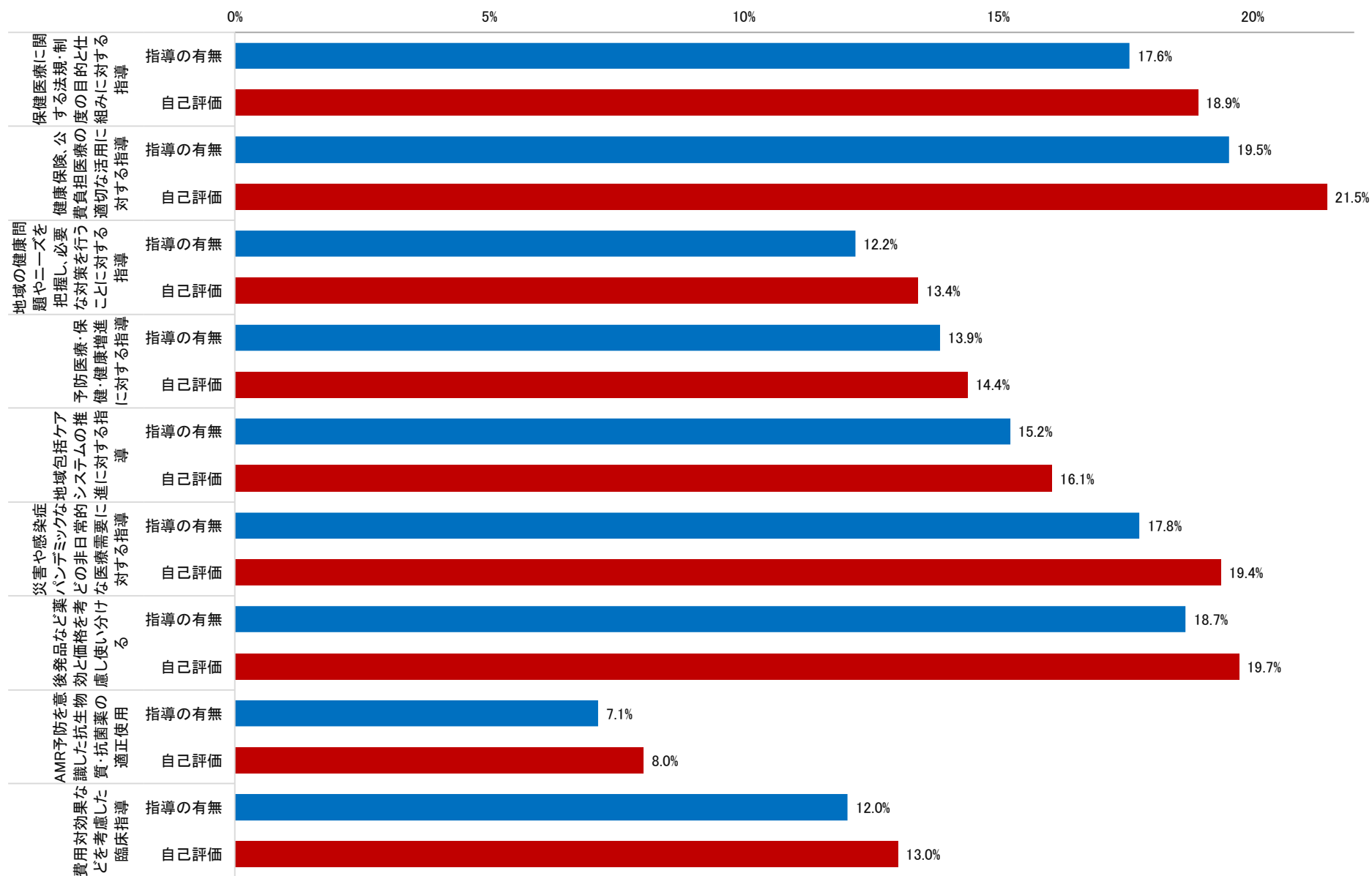


# 医療の持つ社会的側面を踏まえた指導の有無と理解度 AMR予防を意識した抗生物質・抗菌薬の適正使用



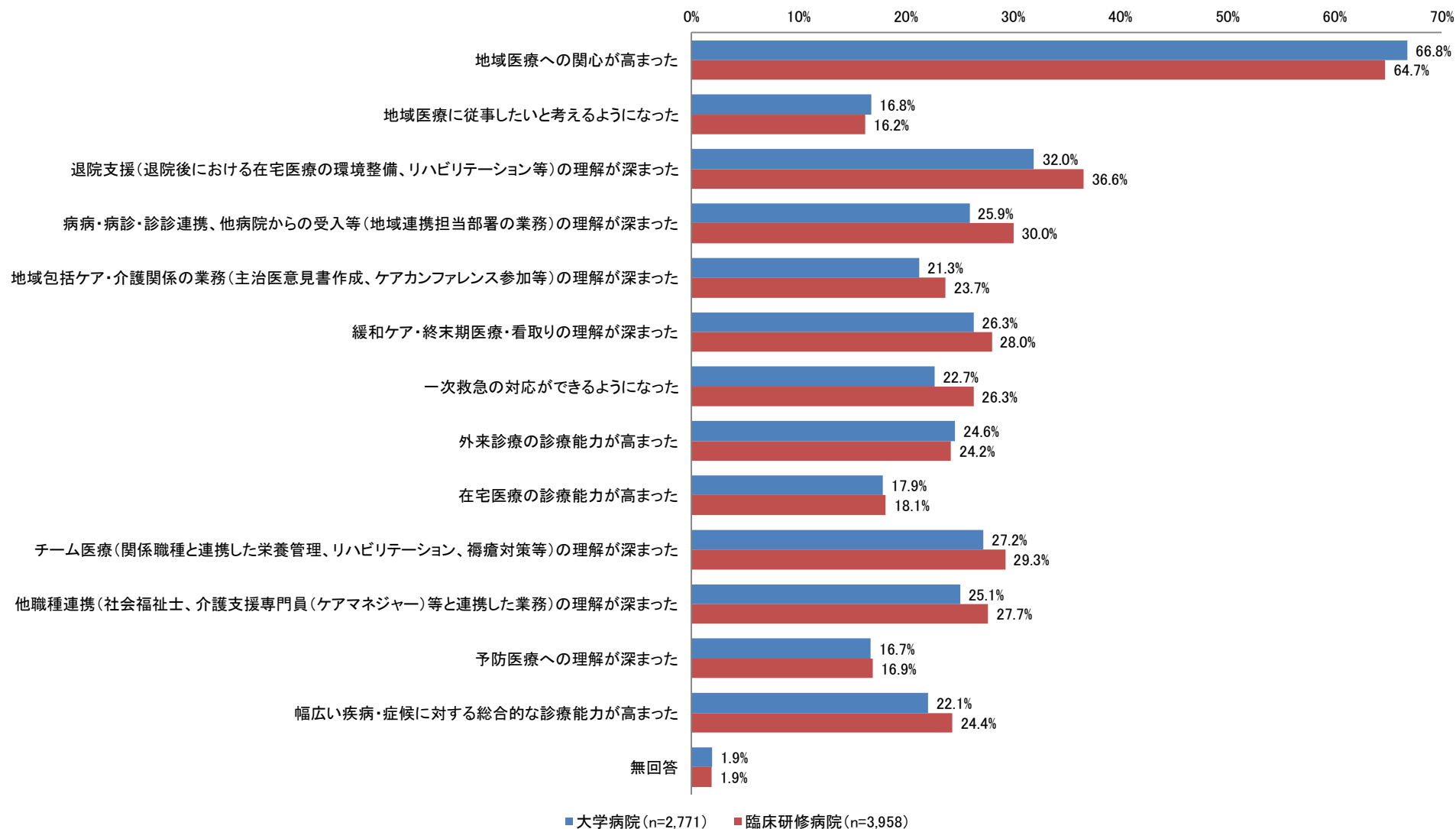


# 医療の持つ社会的側面を踏まえた指導の有無と理解度 「1」または「2」と回答した割合（全体）

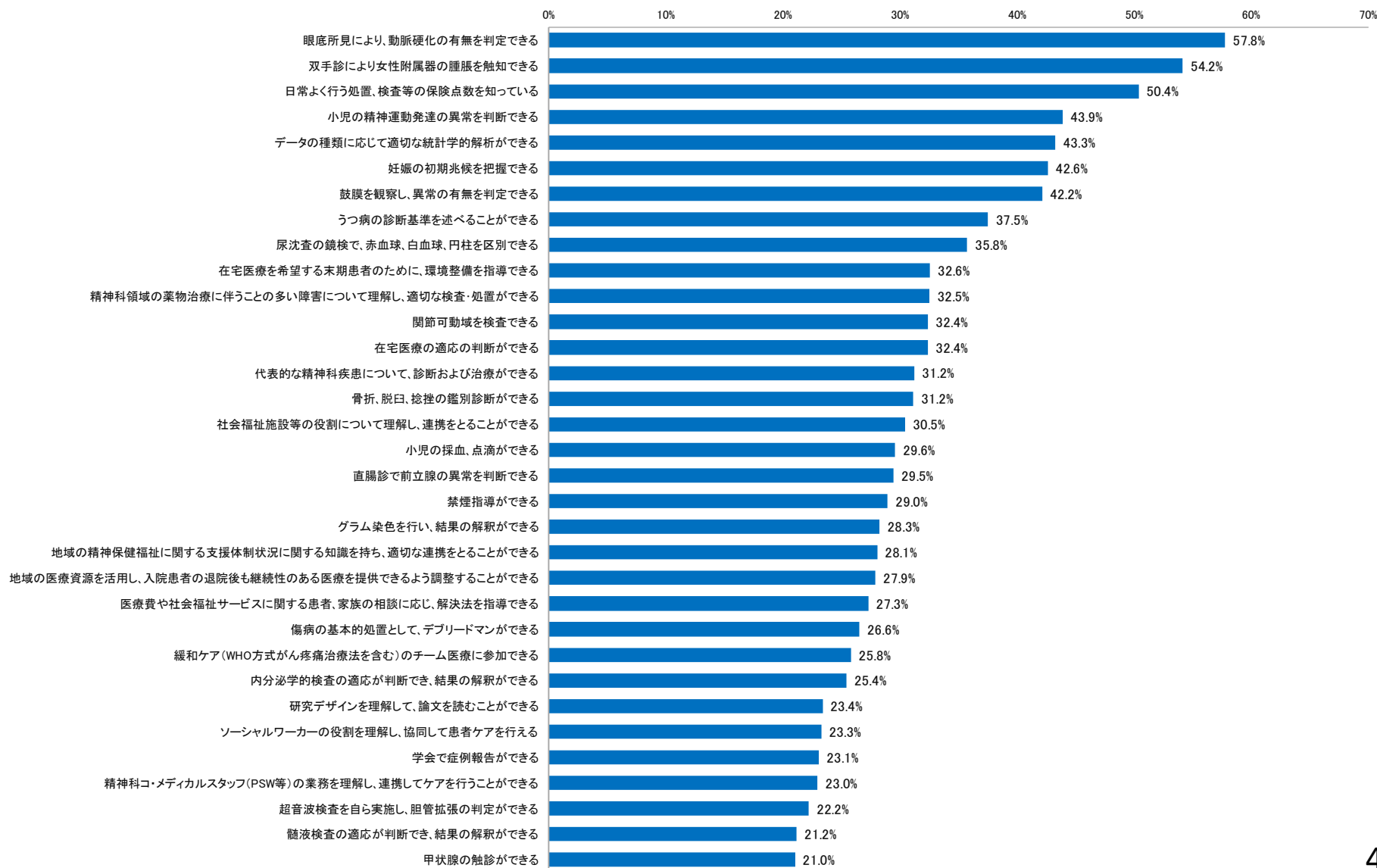


## 地域医療研修の効果（複数回答可）

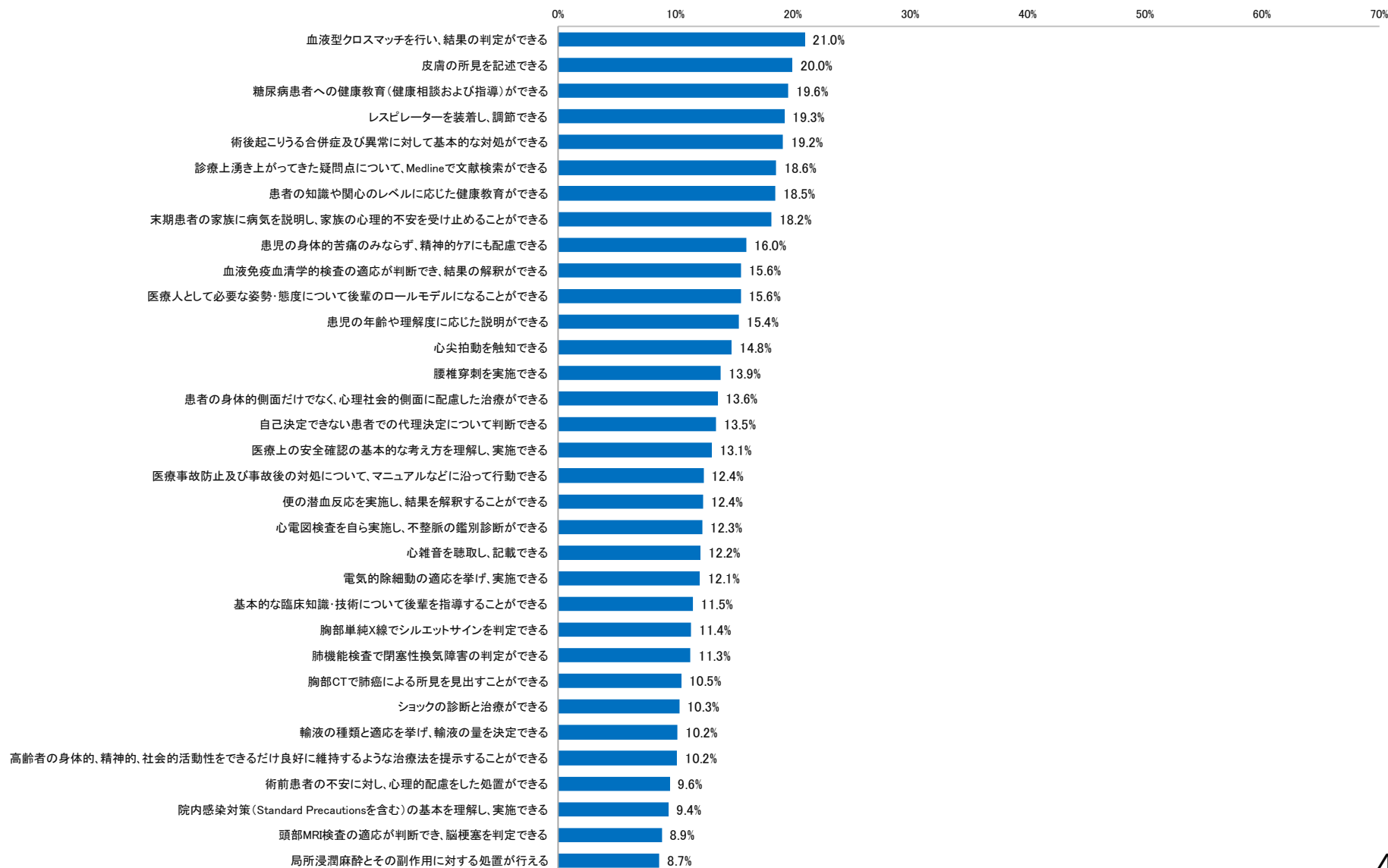
○大学病院で臨床研修を受けた者、臨床研修病院で臨床研修を受けた者ともに、「地域医療への関心が高まった」が最も多く、次いで「退院支援の理解が深まった」が多かった。



# 臨床研修で身に付いた臨床知識、技術、態度 「あまり自信がない、ひとりでは不安がある」または 「できない」と回答した割合（全体、降順）



# 臨床研修で身に付いた臨床知識、技術、態度 「あまり自信がない、ひとりでは不安がある」または 「できない」と回答した割合（全体、降順）



# 臨床研修で身に付いた臨床知識、技術、態度 「あまり自信がない、ひとりでは不安がある」または 「できない」と回答した割合（全体、降順）

